

# 歯と口に関するアンケート 静岡市内事業所向け調査報告書

令和7(2025)年12月

静岡市健康づくり推進課 口腔保健支援センター

# 目次

## 1. 調査の概要

調査の目的	3
調査設計	3
調査対象の抽出方法	4

## 2. 調査の結果

回収結果	5
------	---

### I. 事業所属性

業種分類	6
従業員数	7
従業員の男女比率	8
60歳以上の従業員比率	9
加入する被用者保険	10

### II. 歯と口の健康

健康診断での歯科健診	11
勤務中の歯科健診受診	12
従業員の歯の病気の把握	13
啓発リーフレットの活用・周知	14
啓発動画の活用・周知	15
市の歯周病検診の周知	16

### III. がんに関すること

過去3年間でがんにかかった従業員	17
「がんにかかった従業員」の就業状況	18

## IV. 従業員への取組

従業員への歯と口の健康の取組	19
従業員への健康の取組	20
従業員への喫煙の取組	21
従業員へのがんなどの病気との両立の取組	22
従業員への取組【自由記載】	23

## V. 喫煙対策

従業員の喫煙率の把握	24
従業員の喫煙率	25
受動喫煙対策の現状	26
敷地内禁煙を進めるための阻害要因	27
敷地内禁煙を進めるための阻害要因【その他】	28

## VI. 健康経営

経営理念や経営方針に健康に関する記述	29
保険者や県が実施の「健康宣言」の状況	30

## VII. その他

行政や保険者に求めるもの【自由記載】	31
--------------------	----

3. 集計表	33
--------	----

4. 調査票	37
--------	----

# 調査の目的

「静岡県歯と口腔の健康づくり推進計画（令和3～8年度）」の最終評価・次期計画策定に係る基礎資料として、事業所の歯と口の健康に関する実態を把握し、働き盛り世代の歯科保健を推進することを目的とする。

# 調査設計

- ・ 調査対象 静岡市内の事業所 500事業所
- ・ 調査方法 郵送配布・オンラインによる回答
- ・ 調査期間 令和7年8月1日～令和7年8月29日

# 調査対象の抽出方法

- ① 令和3年経済センサス-活動調査-から、本調査の業種分類に沿った静岡市内事業所の業種比率を算出（図表1）
- ② 静岡経済研究所が発行する「2025静岡県会社要覧」より、静岡市内を所在地とする**1,193**事業所を本アンケート調査で設定した**10**業種に分類。
- ③ 調査サンプル数（**500**先）に合わせて業種分類ごとの抽出事業所数を算出。（図表2）

図表1 静岡市内の事業所数

経済センサス-活動調査-業種分類	事業所数	事業比率	R7年度アンケート業種分類
A 農業,林業	78	0.002	→ 農林水産業
B 漁業	23	0.001	
C 鉱業,採石業,砂利採取業	5	0.000	→ 建設業
D 建設業	3,159	0.094	
E 製造業	3,026	0.090	→ 製造業
F 電気・ガス・熱供給・水道業	49	0.001	→ 電気・ガス
G 情報通信業	396	0.012	→ 運輸・通信業
H 運輸業,郵便業	820	0.024	
I 卸売業,小売業	8,596	0.255	→ 卸売・小売業
J 金融業,保険業	678	0.020	→ 金融・保険業
K 不動産業,物品賃貸業	2,195	0.065	→ サービス業
L 学術研究,専門・技術サービス業	1,716	0.051	
M 宿泊業,飲食サービス業	3,580	0.106	→ 宿泊・飲食業
N 生活関連サービス業,娯楽業	2,791	0.083	→ その他
O 教育,学習支援業	1,326	0.039	
P 医療,福祉	2,753	0.082	→ 医療・福祉
R サービス業(他に分類されないもの)	2,527	0.075	→ サービス業
合計	33,718	1.000	

図表2 業種分類ごとの抽出事業所数

業種分類	抽出数
農林水産業	2
建設業	55
製造業	52
電気・ガス	1
運輸・通信業	21
卸売・小売業	149
金融・保険業	12
サービス業	112
宿泊・飲食業	17
医療・福祉	26
その他	53
計	500

# 回収結果

- ・ 回答期限を8月29日に設定したが、9月9日までに回答があった169事業所で集計作業を行った。
- ・ 回収率は33.8%であった。（図表3）

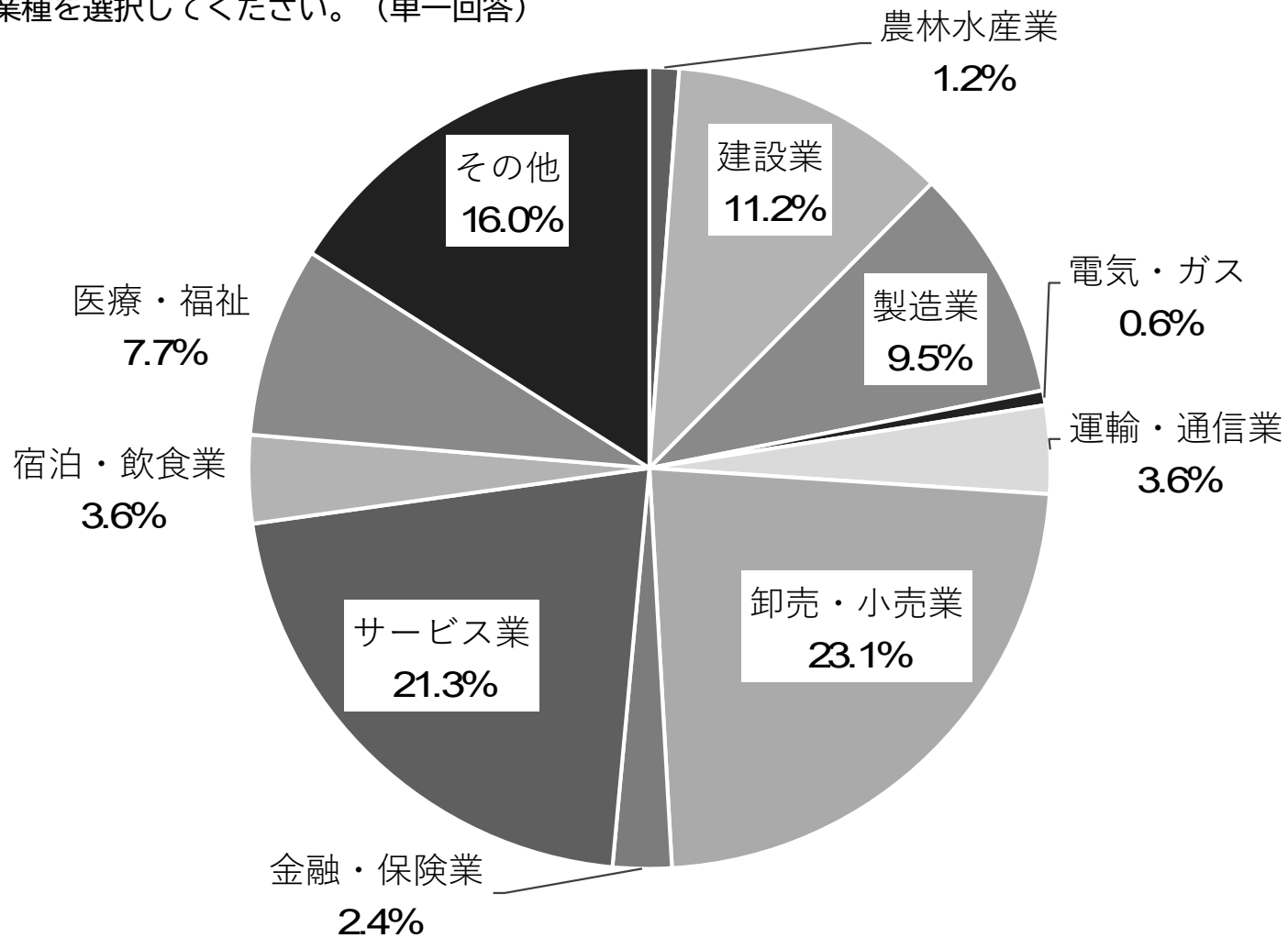
図表3 業種分類ごとの回答率

業務分類	送付数	回答数	回収率
農林水産業	2	2	100.0%
建設業	55	19	34.5%
製造業	52	16	30.8%
電気・ガス	1	1	100.0%
運輸・通信業	21	6	28.6%
卸売・小売業	149	39	26.2%
金融・保険業	12	4	33.3%
サービス業	112	36	32.1%
宿泊・飲食業	17	6	35.3%
医療・福祉	26	13	50.0%
その他	53	27	50.9%
計	500	169	33.8%

# Q1.業種分類

(N=169)

貴社の主要な業種を選択してください。(単一回答)

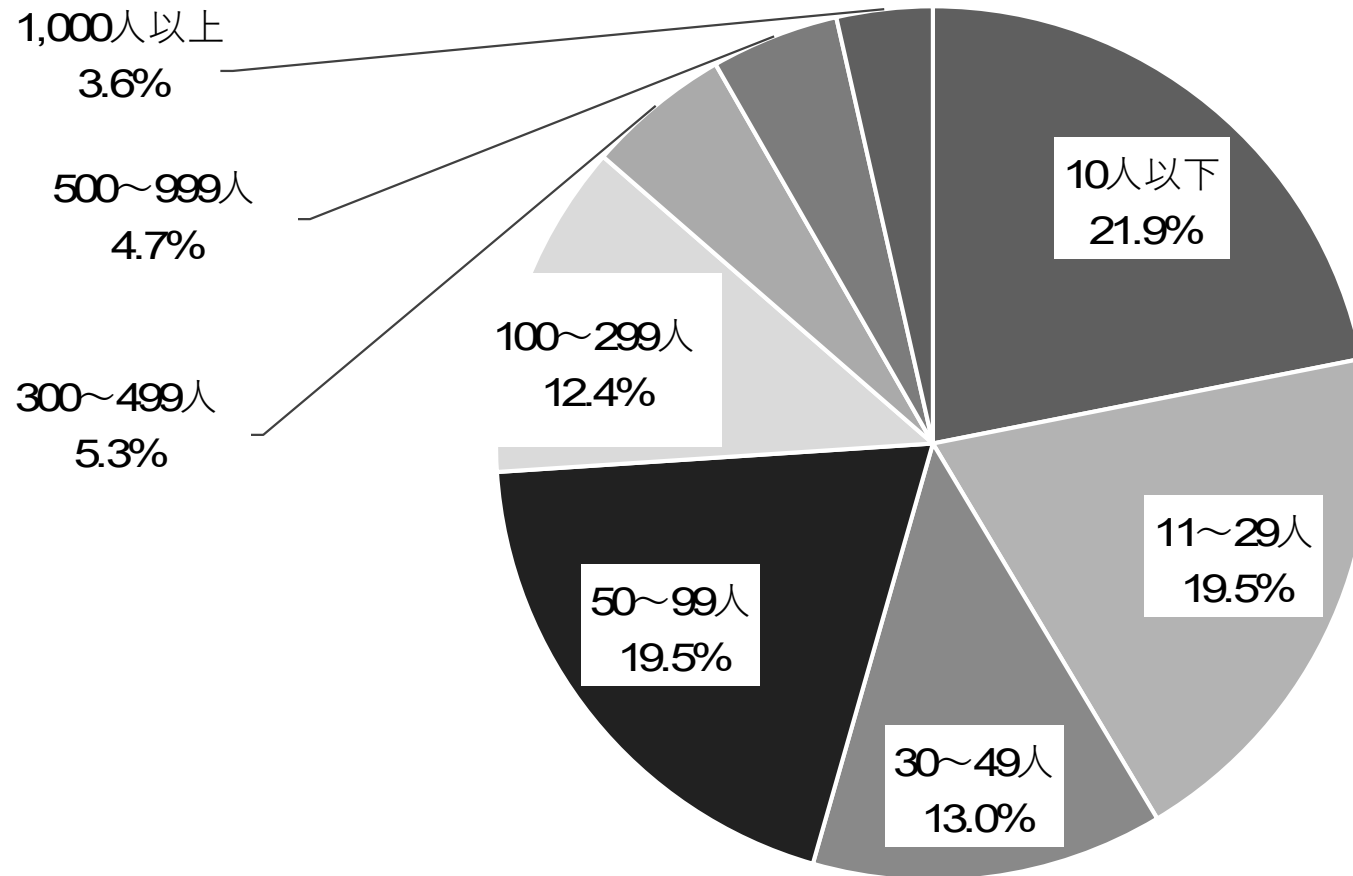


業種は、「卸売・小売業」が23.1%と最も高く、次いで「サービス業」が21.3%となっています。

## Q2 従業員数

(N=169)

貴社の従業員数（非正規社員を含む）を選択してください。（単一回答）

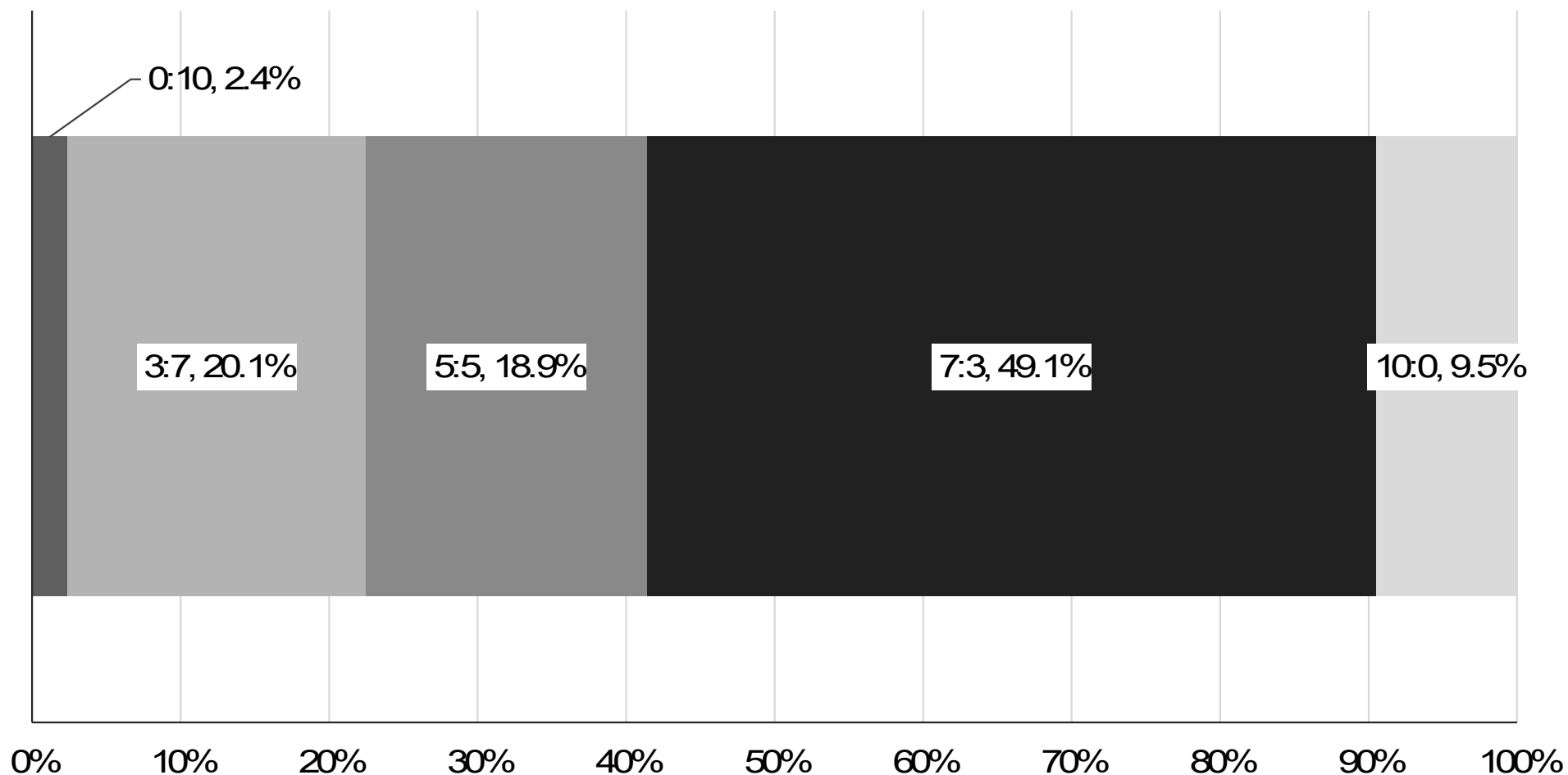


従業員数は、「10人以下」が21.9%と最も高く、次いで「11~29人」「50~99人」がそれぞれ19.5%となっています。

## Q3.従業員の男女比率

(N=169)

貴社の従業員の男女比率は次のうち、どれが一番近いですか。(単一回答) ※男性：女性

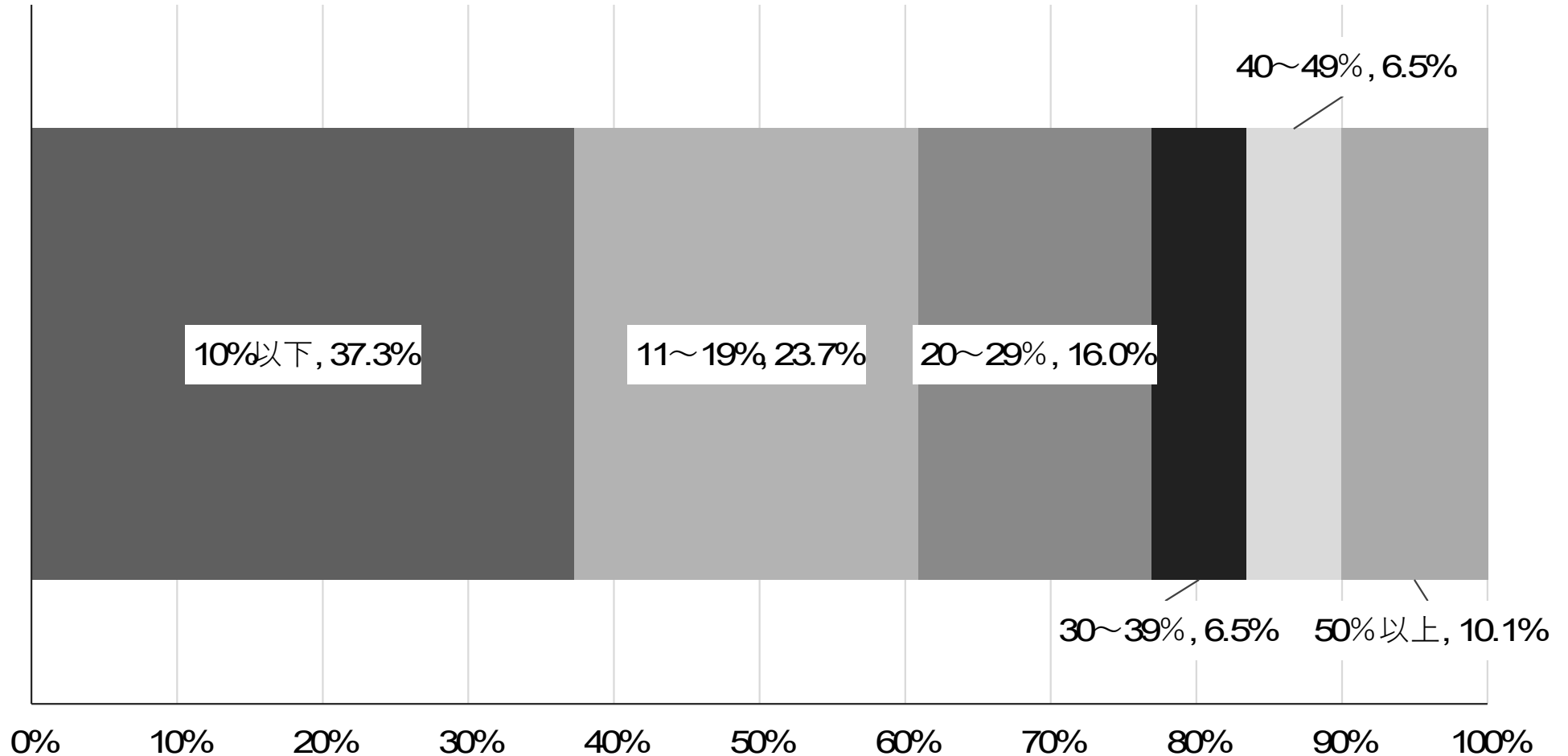


従業員の男女比率は、男性が多い(7:3+10:0)と回答した事業所が58.6%、女性が多い(3:7)と回答した事業所が20.1%、男性と女性は同数程度(5:5)と回答した事業所が18.9%となっています。

## Q4.60歳以上の従業員比率

(N=169)

貴社の60歳以上の従業員比率を選択してください。(単一回答)

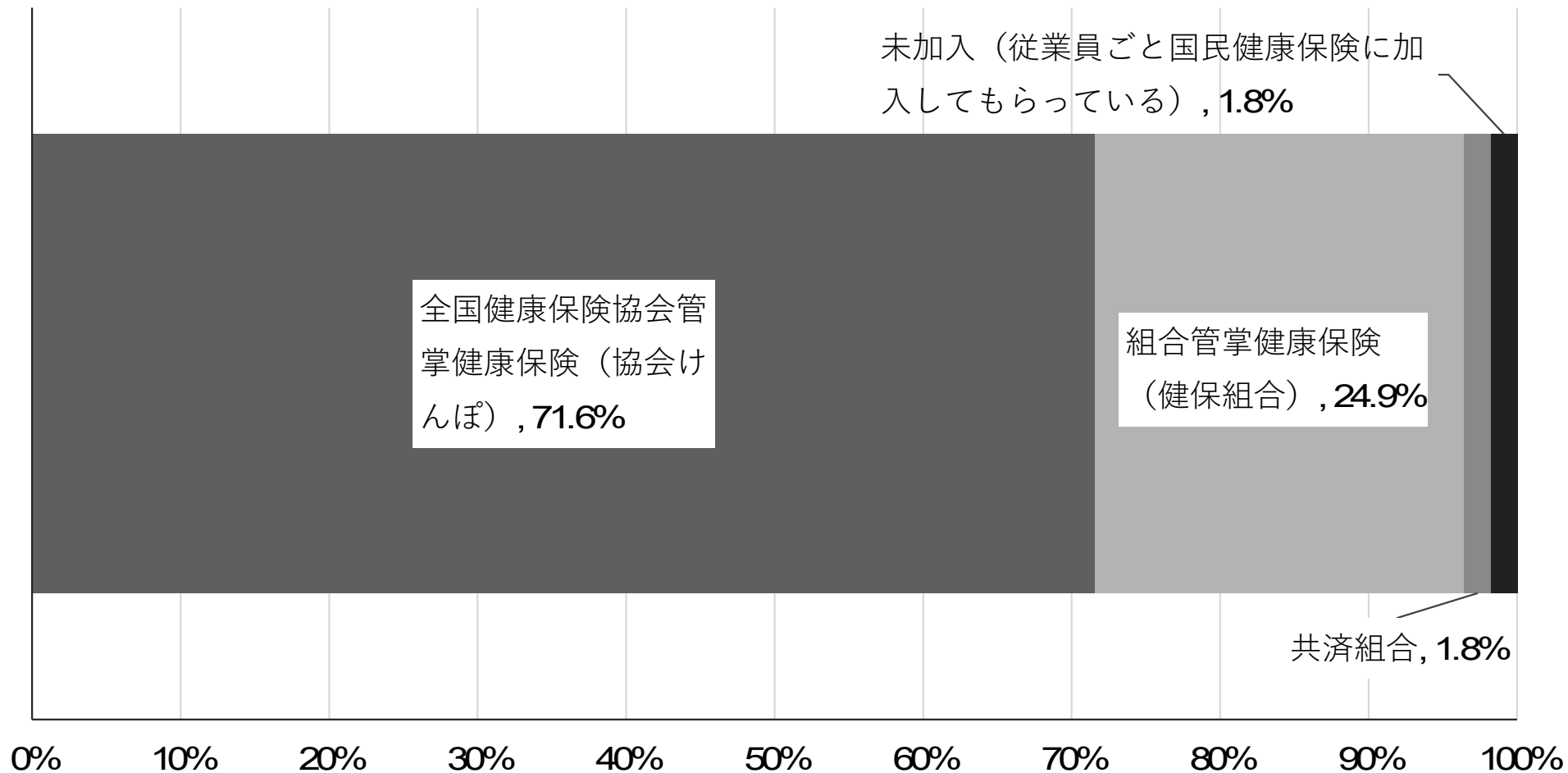


60歳以上の従業員比率は、「10%以下」が最も高く37.3%となっています。

## Q5.加入する被用者保険

(N=169)

貴社が加入する被用者保険を選択してください。(単一回答)

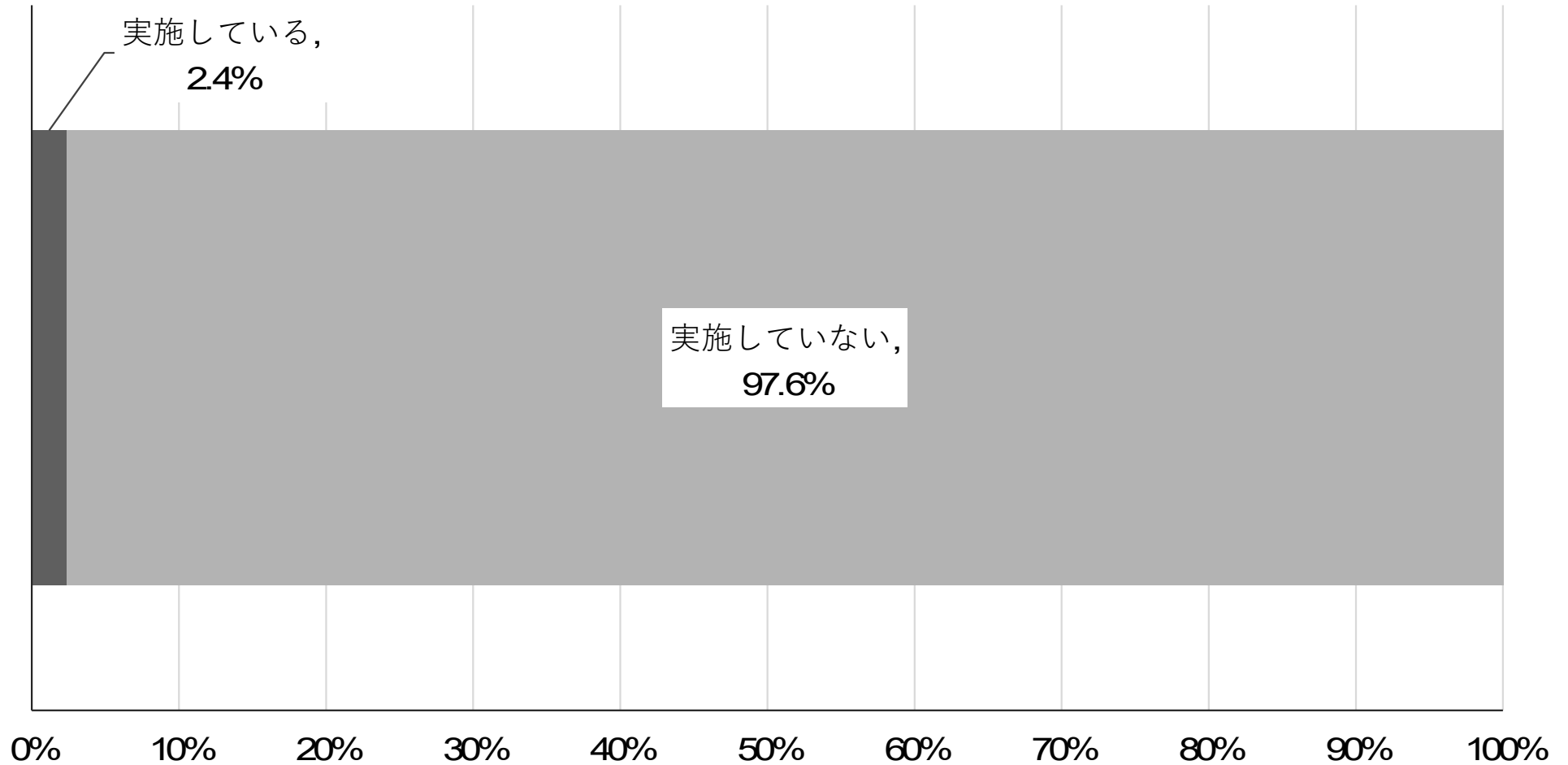


加入する被用保険者は、「全国健康保険協会管掌健康保険 (協会けんぽ)」が71.6%、「組合管掌健康保険 (健保組合)」が24.9%となっています。

## Q6. 健康診断での歯科健診

(N=169)

貴社の健康診断では、歯科に関する健診（歯科健診）を実施していますか。（単一回答）

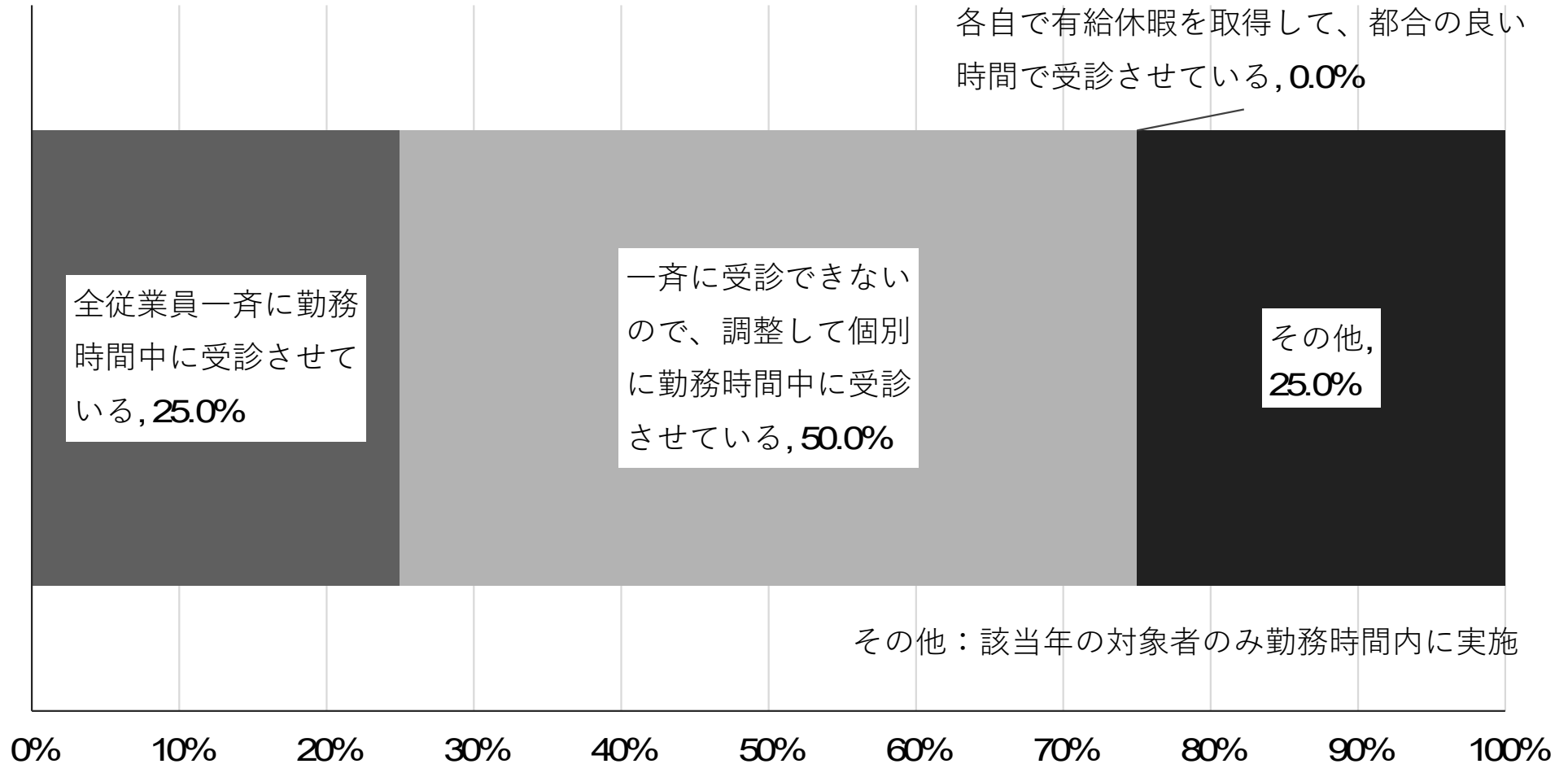


健康診断での歯科健診は、「実施している」が2.4%となっています。

## Q7. 勤務中の歯科健診受診

(N=4)

【前問で実施しているのみ】 貴社の歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。（単一回答）

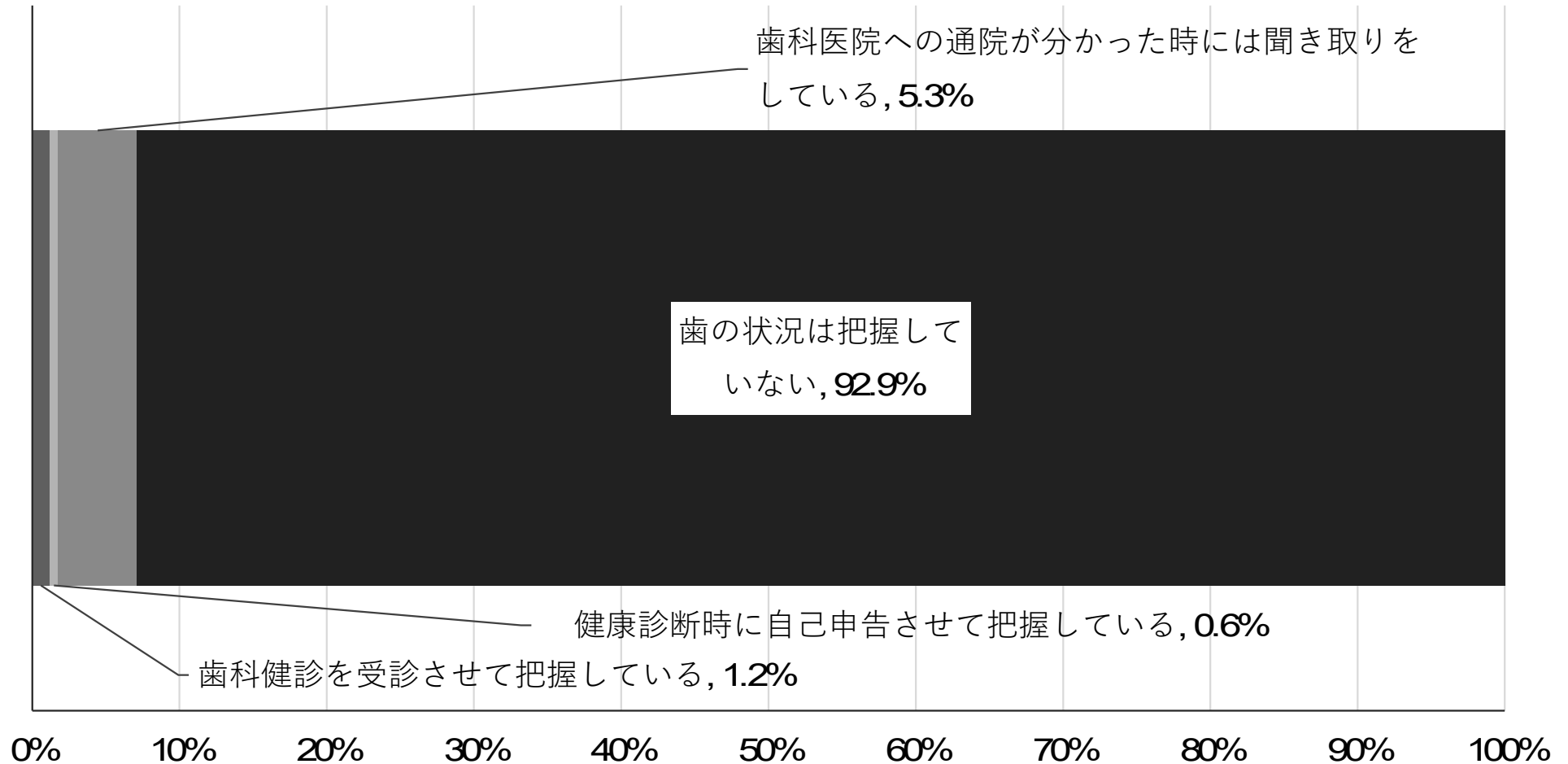


歯科健診を実施していると回答した事業所の内訳は、「全従業員一斉に勤務時間中に受診させている」が25.0%(1事業所)、「一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている」が50.0%(2事業所)、「その他」が25.0%(1事業所)となっています。

## Q8. 従業員の歯の病気の把握

(N=169)

貴社では、従業員の歯の病気について把握していますか。(単一回答)

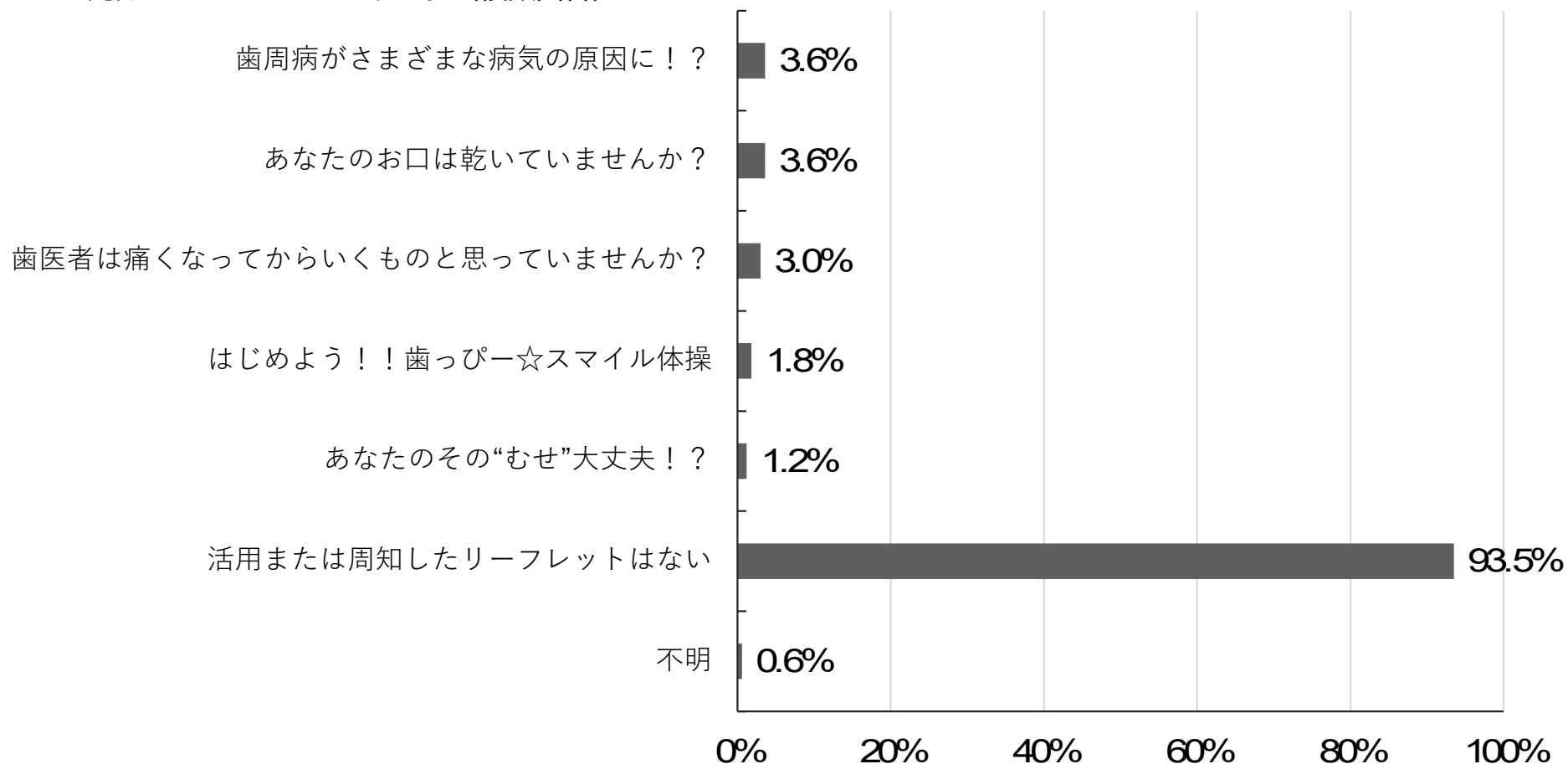


従業員の歯の病気の把握については、「歯の状況は把握していない」が90%を超えています。

## Q9. 啓発リーフレットの活用・周知

(N=169)

静岡市では、歯と口に関する様々な啓発リーフレットを作成しています。貴社では、従業員に対して、次のリーフレットを活用または周知したことはありますか。（複数回答）

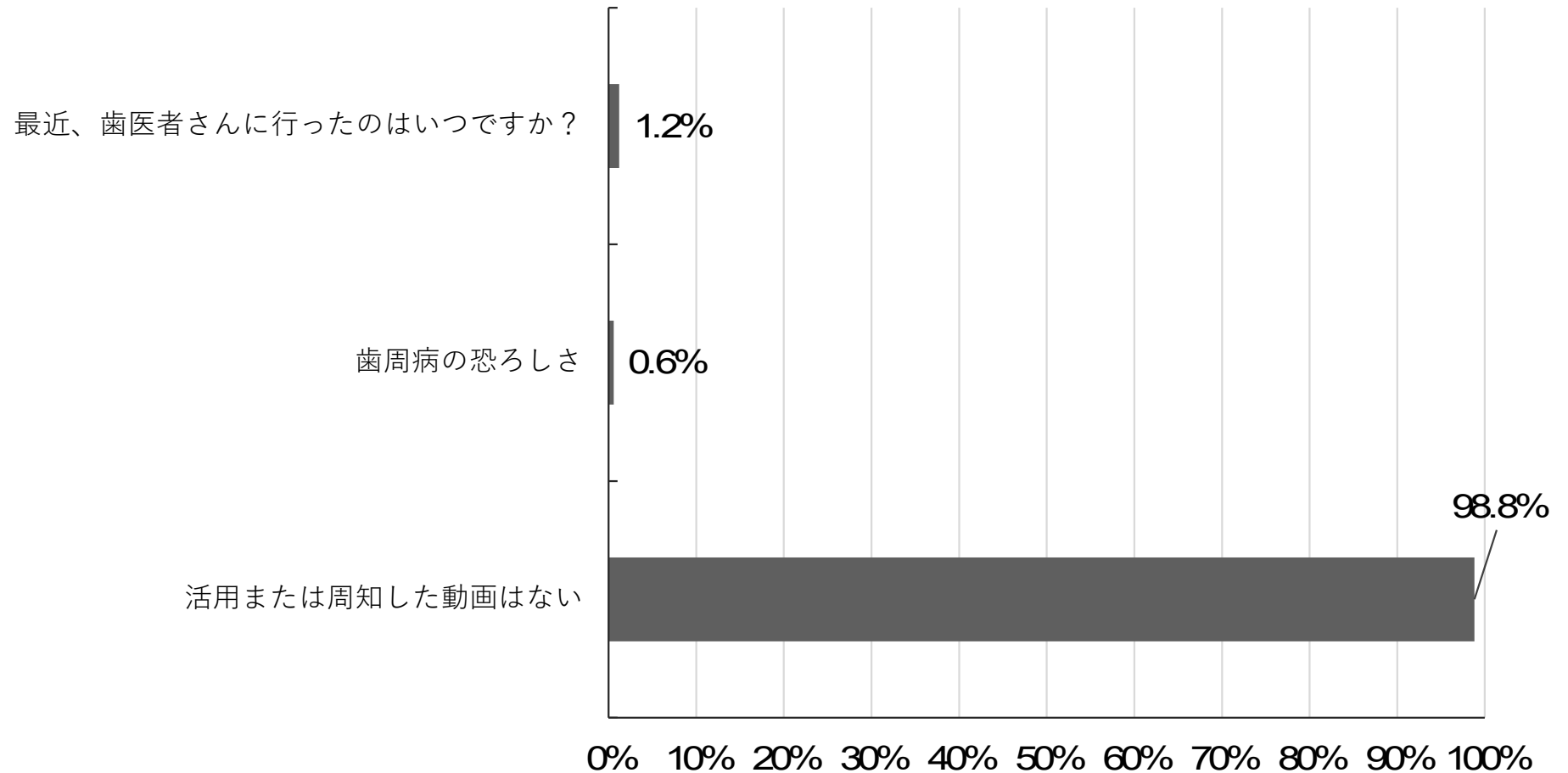


市が作成した啓発リーフレットの活用・周知は、「活用または周知したリーフレットはない」が87.3%となっています。活用したことがあるリーフレットは「歯周病がさまざまな病気の原因に！？」と「あなたのお口は乾いていませんか？」が3.3%で最も高くなっています。

## Q10. 啓発動画の活用・周知

(N=169)

静岡市では、歯と口に関する様々な啓発動画を作成しています。貴社では、従業員に対して、次の啓発動画を活用または周知したことはありますか。（複数回答）

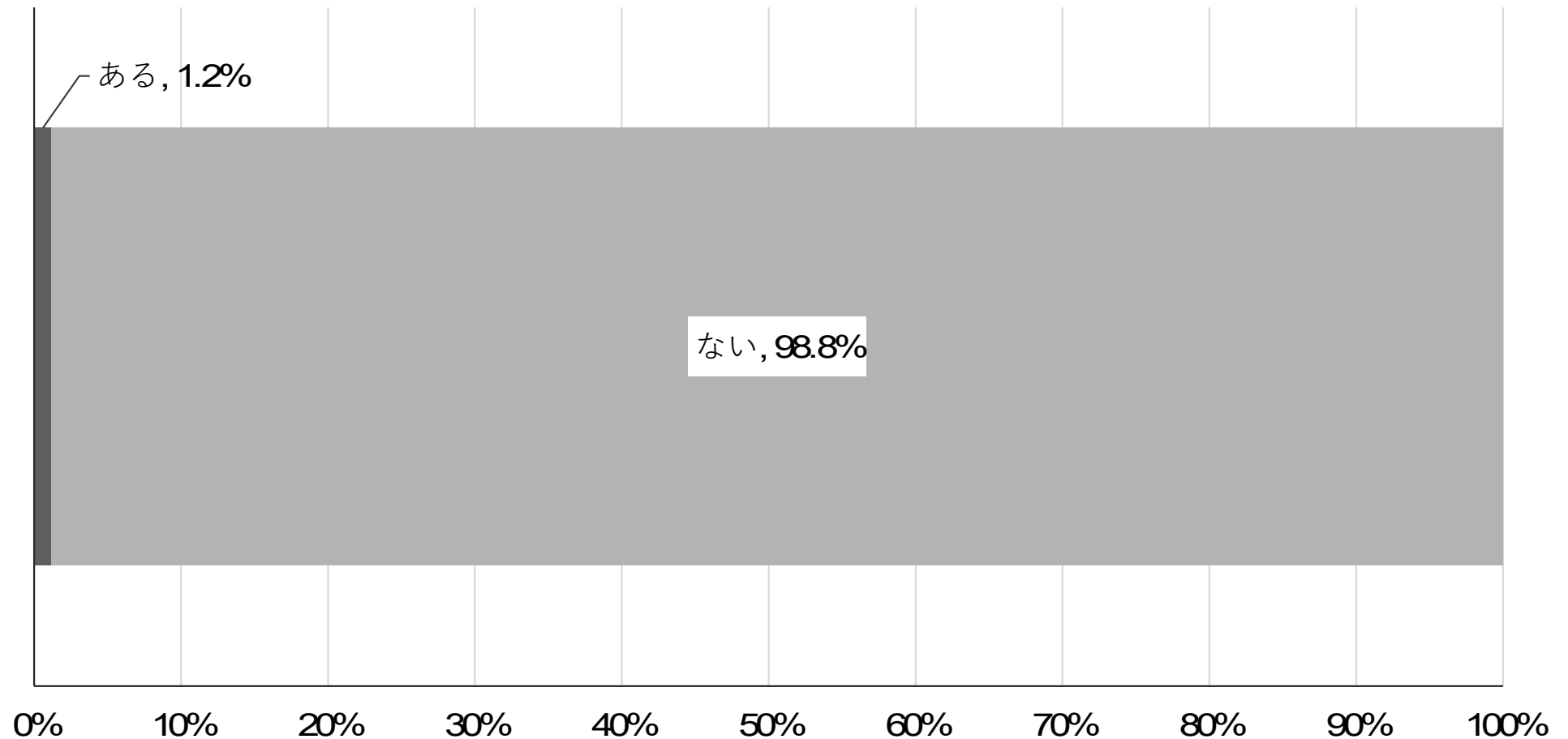


市が作成した啓発動画の活用・周知は、「活用または周知した動画はない」が98.2%となっています。活用したことがある動画は「最近、歯医者さんに行ったのはいつですか？」が1.2%で最も高くなっています。

## Q11.市の歯周病検診の周知

(N=169)

静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯周病検診」を行っています。貴社では、従業員に対して、この歯周病検診を告知・周知したことはありますか。（単一回答）

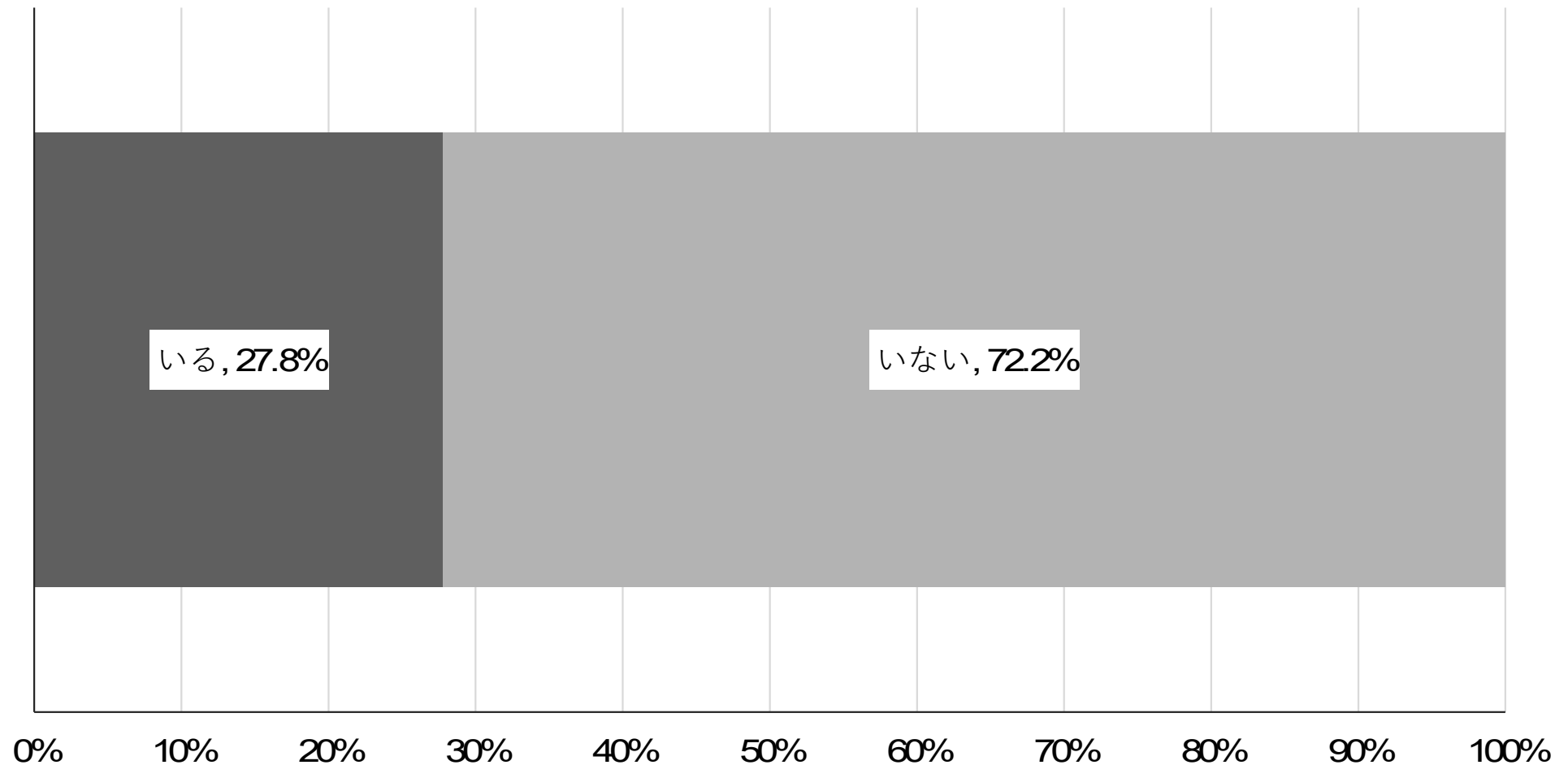


市の歯周病検診の周知については、「周知したことがある」は1.2%となっています。

## Q12 過去3年間でがんにかかった従業員

(N=169)

貴社では、ここ3年間でがんにかかった従業員はいますか。(単一回答)



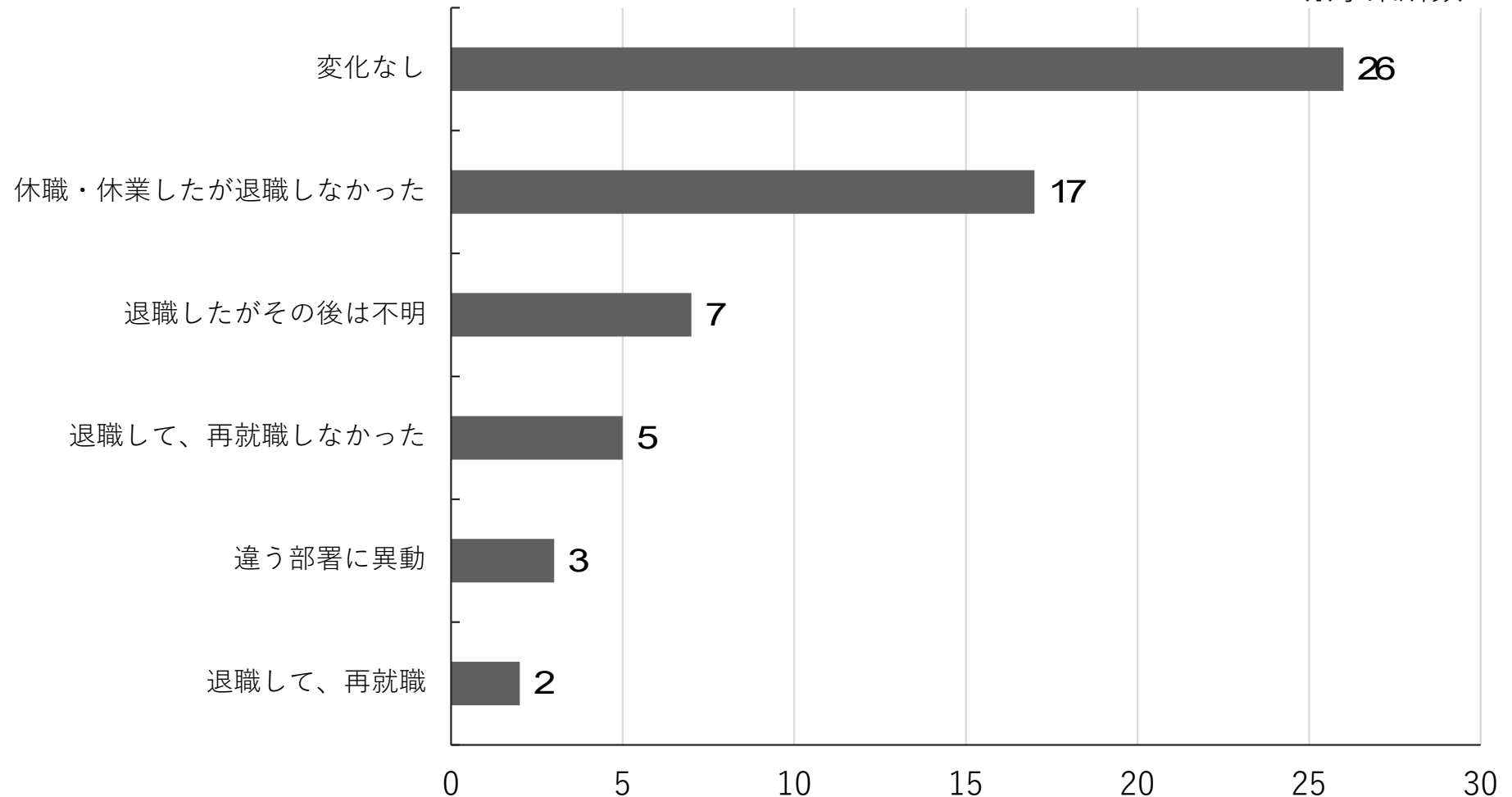
過去3年間でがんにかかった従業員について、「いる」と回答したのは27.8% (47事業所) となっています。

## Q12-2 「がんにかかった従業員」の就業状況

(N=47)

【Q12でいるの場合のみ】就業状況を教えてください。（複数回答）

※事業所数

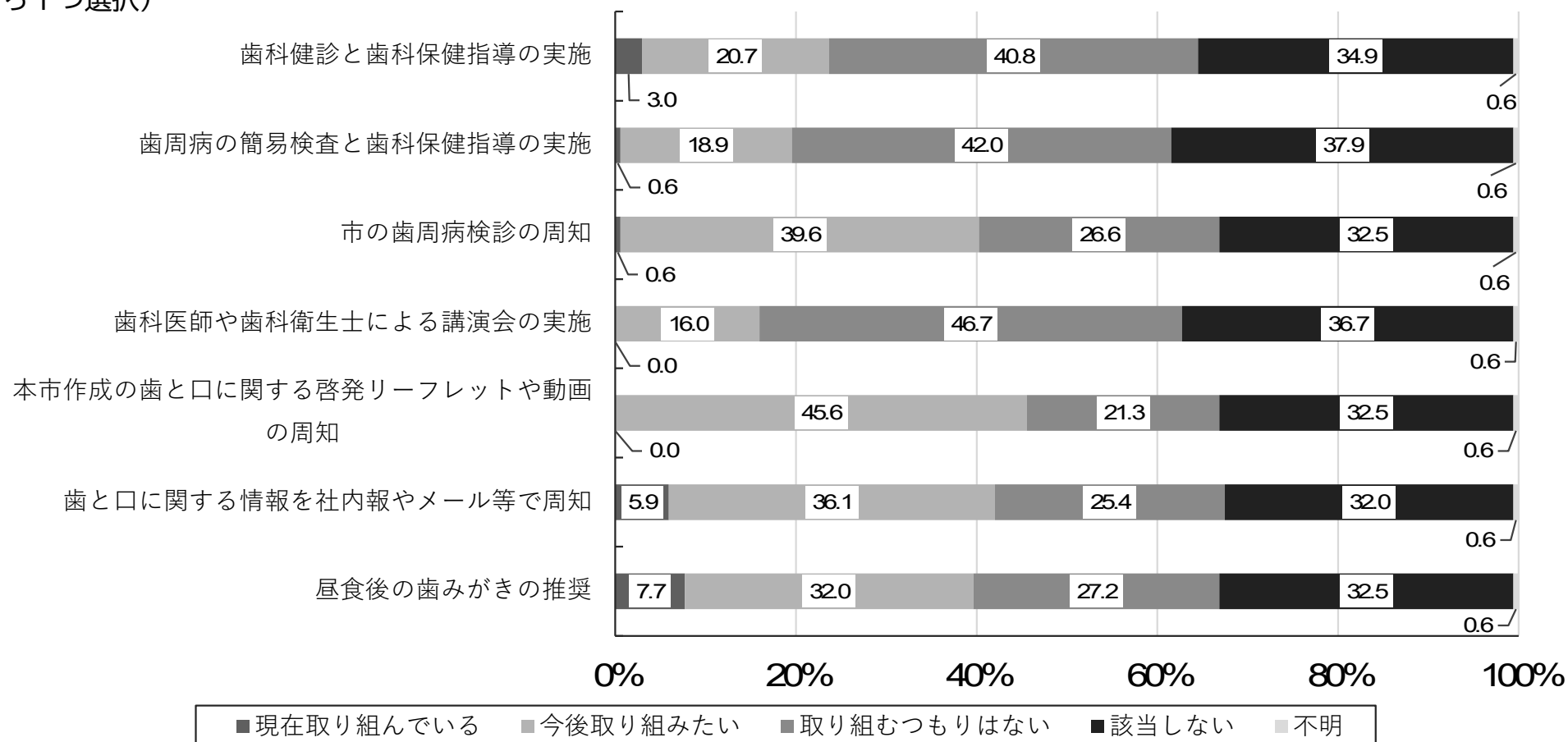


Q12でがんにかかった従業員の就業状況では、「変化なし（同じ部署に継続して就業など）」が26事業所で最も高く、次いで「休職・休業したが退職しなかった」が17事業所となっています。

# Q13.従業員への歯と口の健康の取組

(N=169)

貴社では、従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組めそうなことはありますか。【歯と口の健康に関すること】（項目ごと「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）

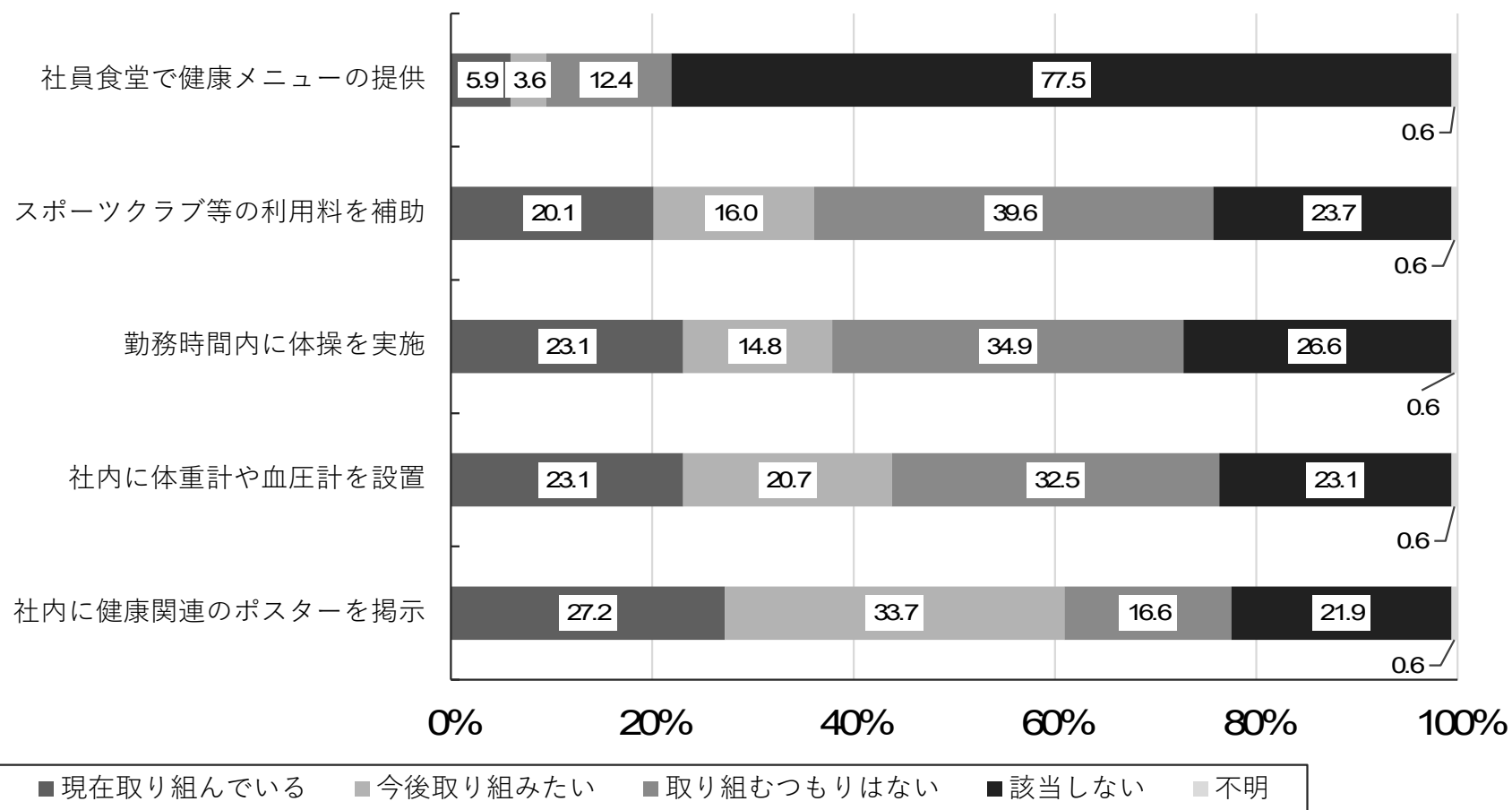


従業員への歯と口の健康の取組について、「現在取り組んでいる」は「昼食後の歯みがきの推奨」が最も高く7.7%となっています。「今後取り組みたい」は「本市作成の歯と口に関する啓発リーフレットや動画の周知」が最も高く45.6%となっています。

# Q14.従業員への健康の取組

(N=169)

貴社では、従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取組みそうなことはありますか。【健康に関すること】（項目ごと「現在取り組んでいる」「今後取組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）

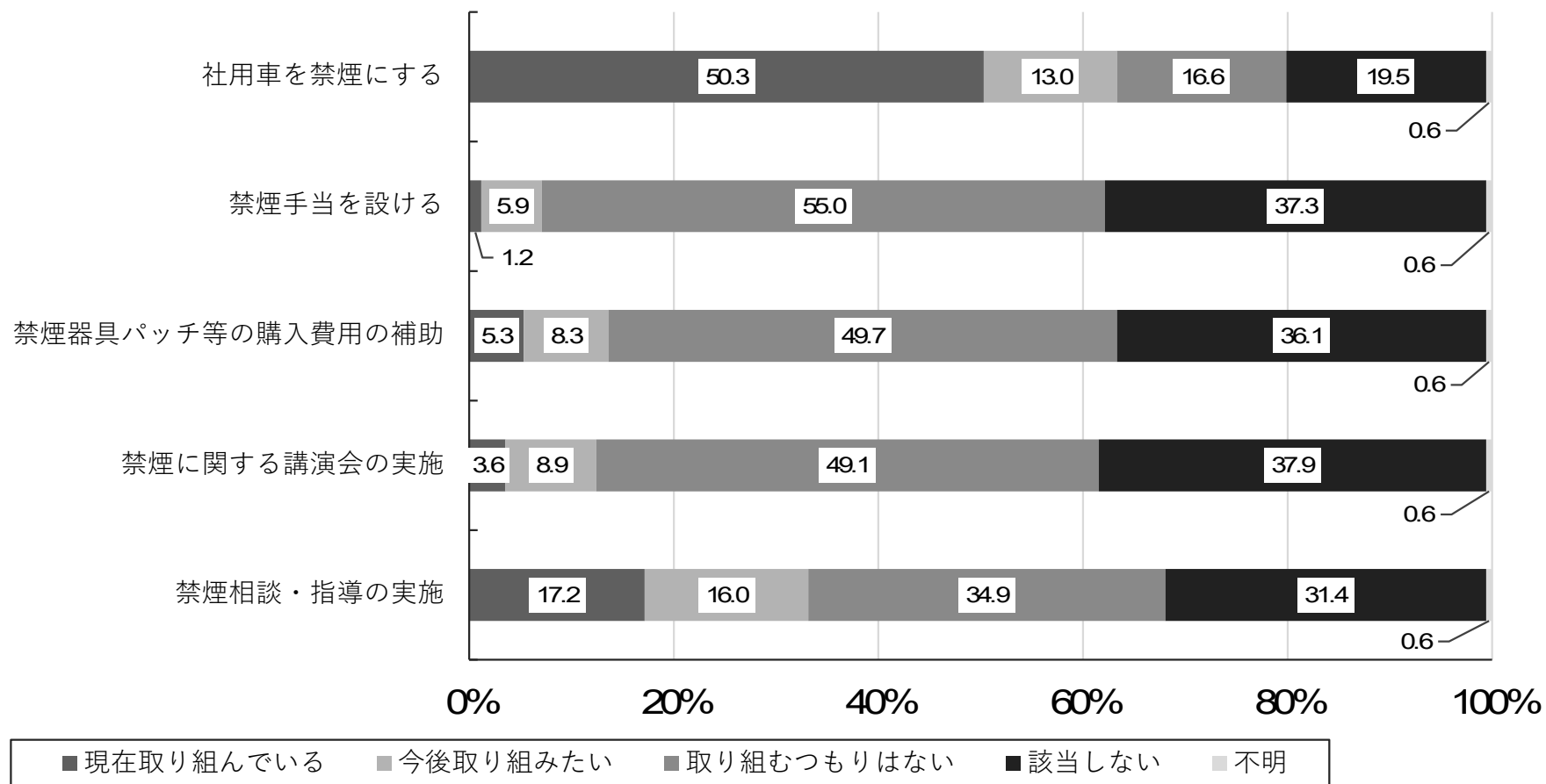


従業員への健康の取組は、「現在取り組んでいる」は「社内に健康関連のポスターを掲示」が最も高く27.2%となっています。「今後取組みたい」も「社内に健康関連のポスターを掲示」が最も高く33.7%となっています。

# Q15.従業員への喫煙の取組

(N=169)

貴社では、従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組めそうなことはありますか。【喫煙に関すること】（項目ごと「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）

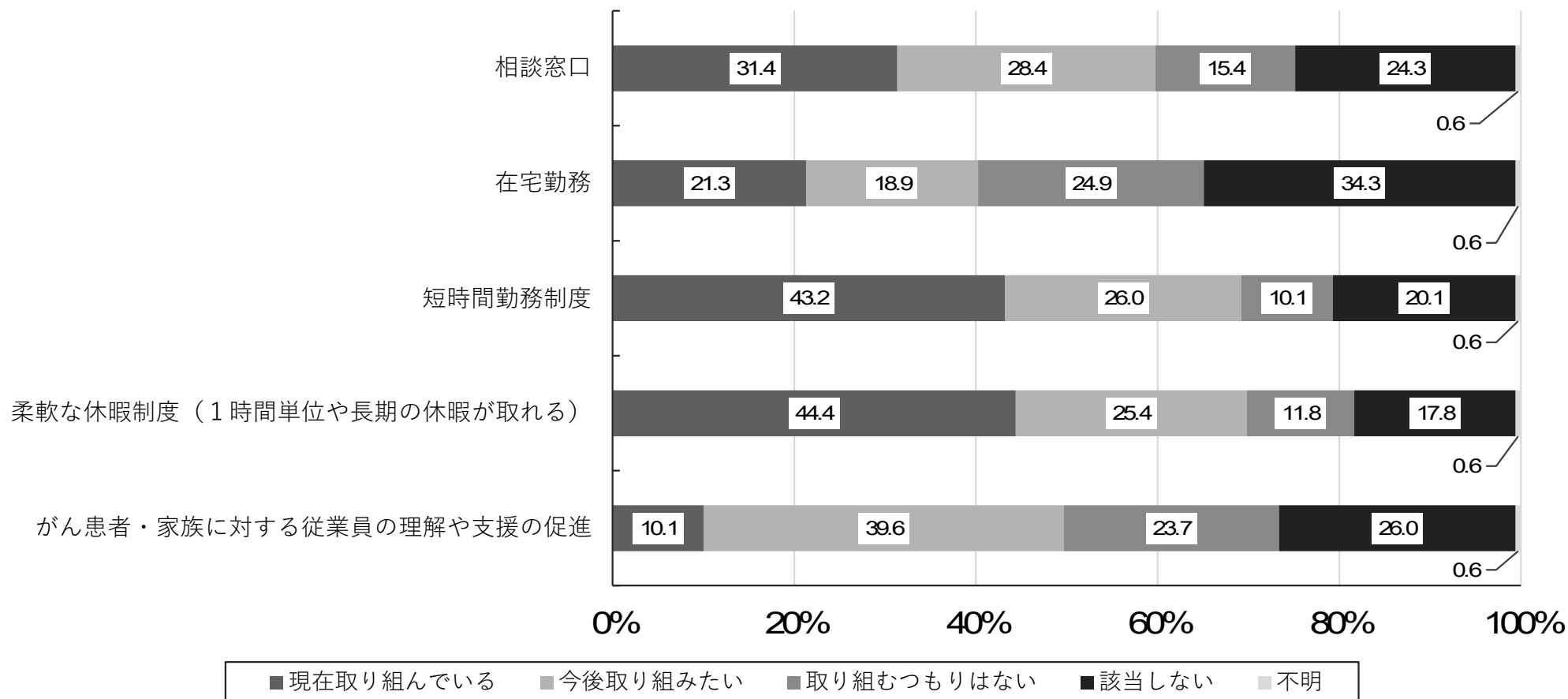


従業員への喫煙の取組は、「現在取り組んでいる」は「社用車を禁煙にする」が最も高く50.3%となっています。「今後取り組みたい」は「禁煙相談・指導の実施」が最も高く16.0%となっています。

# Q16.従業員へのがんなどの病気との両立の取組

(N=169)

貴社では、従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組めそうなことはありますか。【がんなどの病気との両立に関すること】（項目ごと「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）



従業員へのがんなどの病気との両立の取組は、「現在取り組んでいる」は「柔軟な休暇制度（1時間単位や長期の休暇が取れる）」が最も高く44.4%となっています。「今後取り組みたい」は「がん患者・家族に対する従業員の理解や支援の促進」が最も高く39.6%となっています。

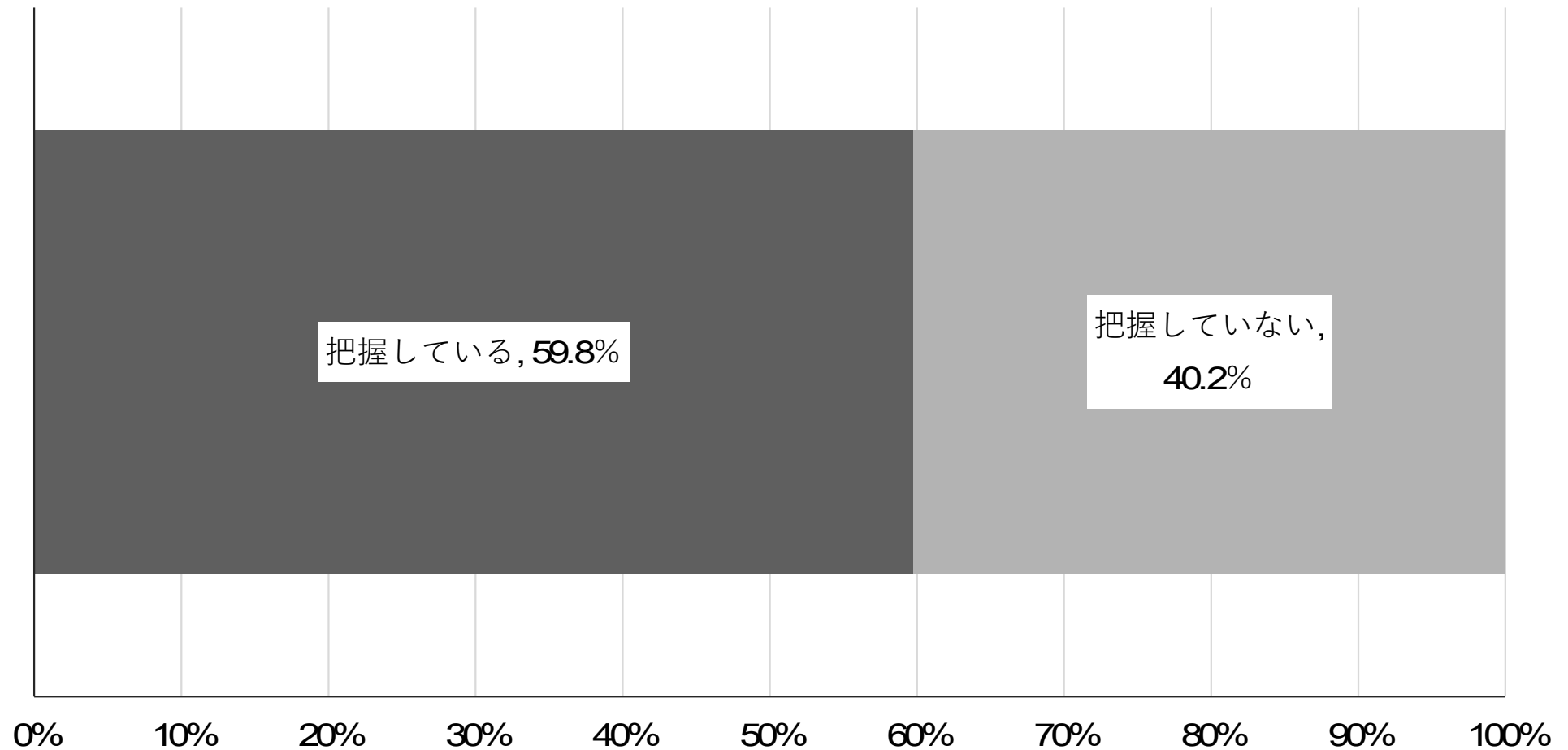
## Q13-16.従業員への取組【自由記載】

- ・該当なしと回答した項目は「必要があれば実施したい」という思いです。
- ・各自で歯科医にかかり指導を受けている。
- ・歯のメンテナンスの費用補助。
- ・従業員が指定の医院で歯科検診を受けた場合、検診料を負担する制度を実施（任意）。
- ・静岡市から歯科健診・歯科保健指導の無料案内を受け申し込みしましたが、実施できなかった経緯があります。その時に、全社員に声かけ（メール）しましたが、8割の方が健診を希望しませんでした。
- ・スポーツエールカンパニーの取組として、勤務中の隙間時間を活かした簡単ストレッチなどの情報発信
- ・各自で適切な病院等にかかり指導を受けている。
- ・心とからだの健康相談窓口の設置。
- ・生活習慣病健診時の付加健診費用補助勧奨、特定保健指導対象者への受診勧奨。
- ・スポーツクラブの補助を以前実施しましたが利用者が無く、無駄になってしまいました。（中には希望する人もおりますが）。リーフレット周知は今後取り組みたいと思います。
- ・スポーツエールカンパニーの取組として、世界禁煙デーに禁煙の取組。
- ・喫煙者が約4人/90人のため禁煙に関することは事業所としては禁煙外来クリニックや相談窓口等を案内する程度です。
- ・現在も、喫煙に関しましては、リーフレット等あれば、社内配信等心がけています。
- ・がん患者に対しては、仕事よりも早期の復帰に向けて治療に専念してもらっています。

## Q17.従業員の喫煙率の把握

(N=169)

貴社では、従業員の喫煙率を把握していますか。(単一回答)

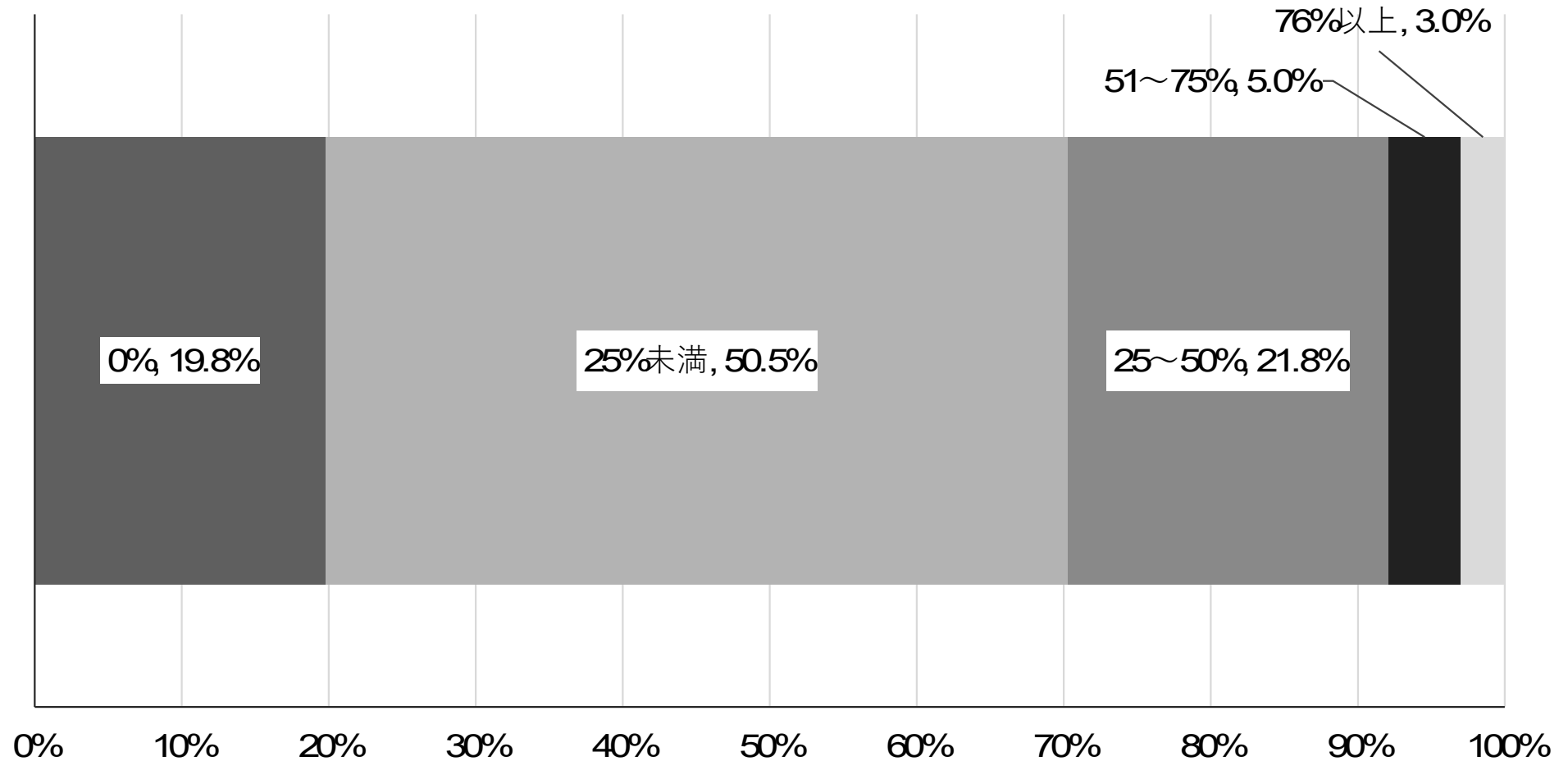


従業員の喫煙率は、「把握している」が59.8%となっています。

## Q17-2 従業員の喫煙率

(N=101)

【把握している】場合は該当する喫煙率を1つ選択してください。(単一回答)

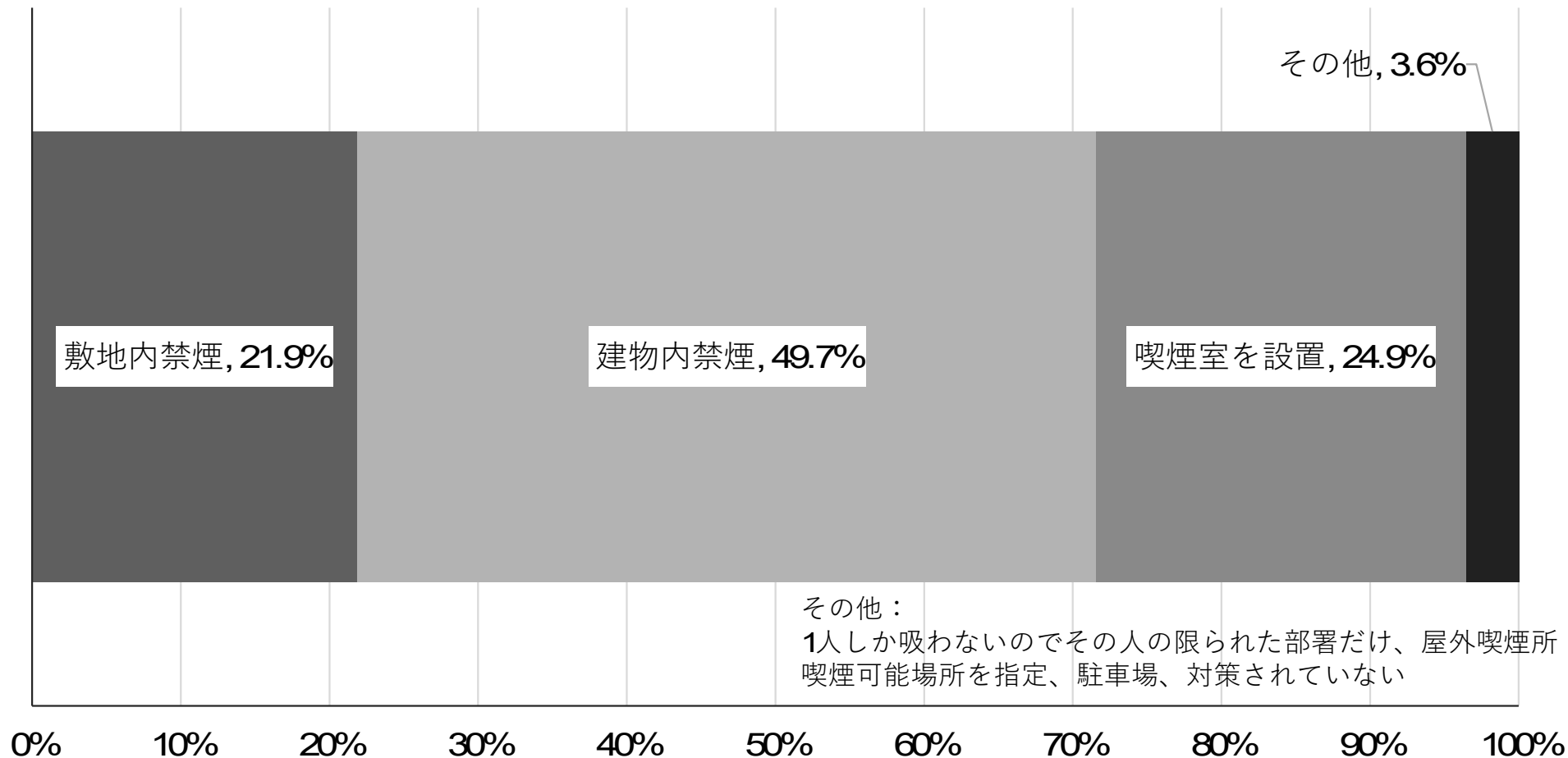


Q17で喫煙率を把握している事業所の喫煙率は、「25%未満」が最も高く50.5%、次いで「25~50%未満」が21.8%となっています。

# Q18.受動喫煙対策の現状

(N=169)

貴社における受動喫煙対策の現状は以下のどれに当てはまりますか。(単一回答)

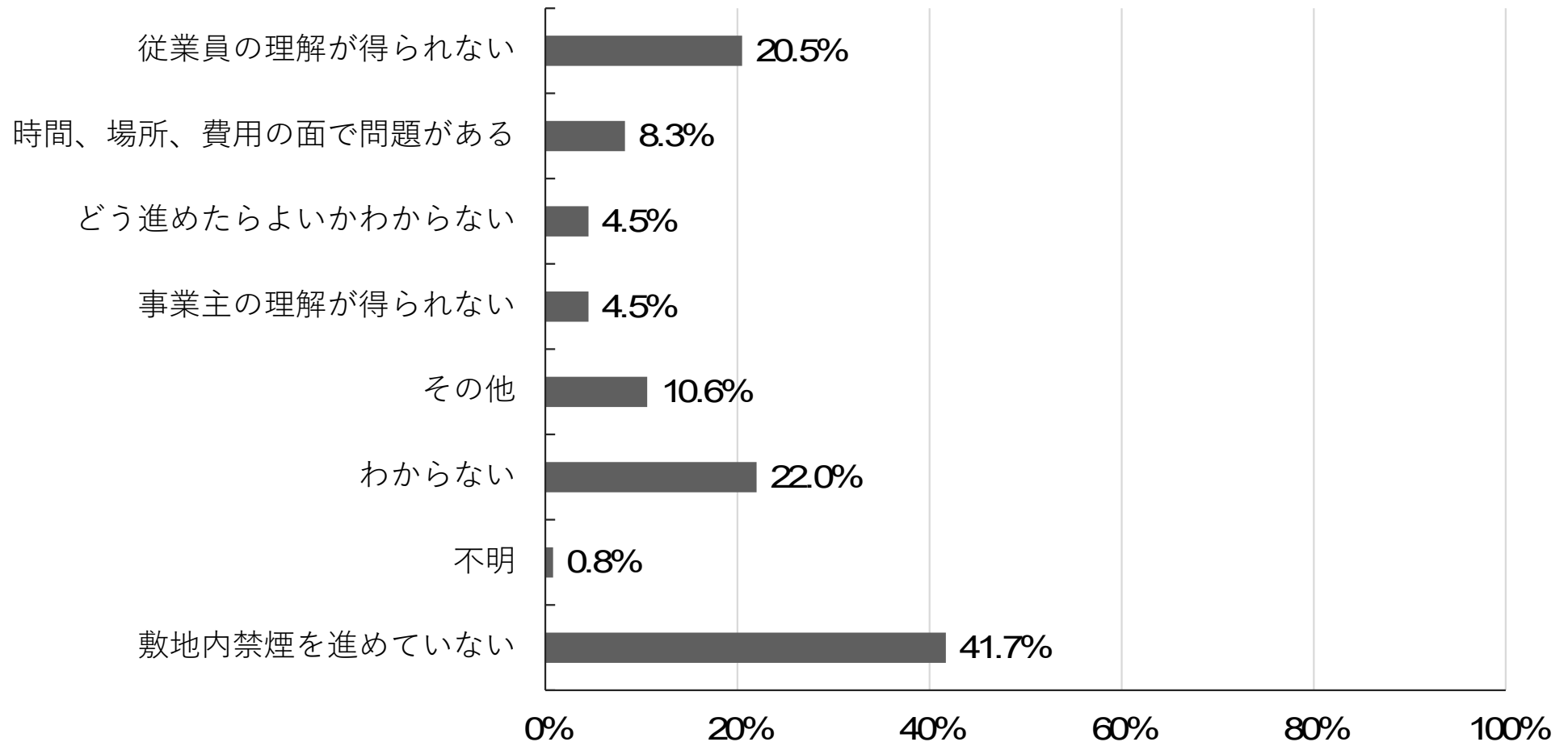


受動喫煙対策の現状は、「敷地内禁煙」が21.9%、「建物内禁煙」が49.7%となっています。

## Q19.敷地内禁煙を進めるための阻害要因

(N=132)

【前問で「敷地内禁煙」以外を選択のみ】貴社では、敷地内禁煙を進めていますか。進めている場合、阻害要因はありますか。  
(複数回答)



敷地内禁煙を進めるための阻害要因は、「従業員が理解が得られない」が最も高く18.1%、次いで「時間、場所、費用の面で問題がある」が7.4%となっています。

## Q19.敷地内禁煙を進めるための阻害要因【その他】

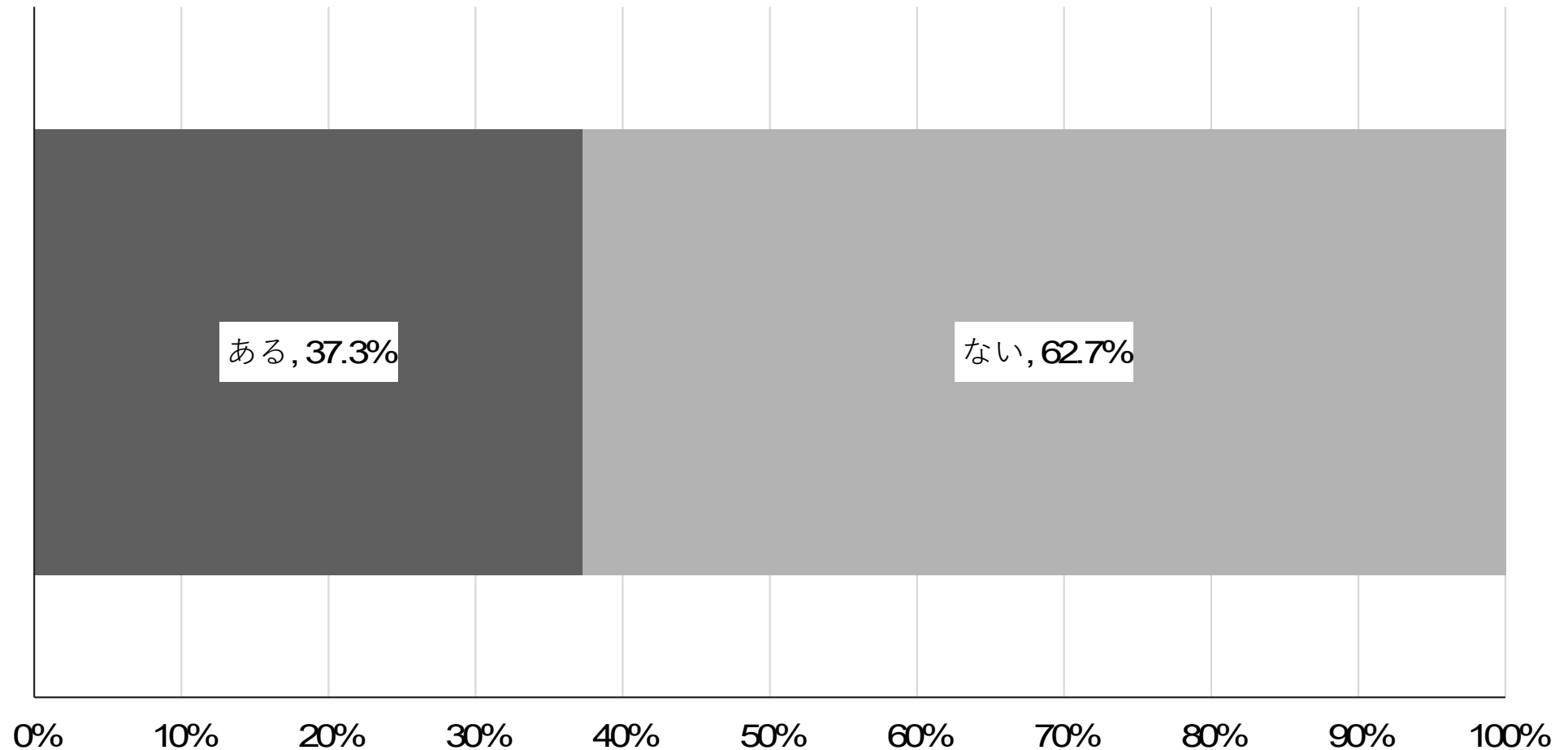
---

- ・テナントの為。
- ・ビルにテナントとして入居しているため。
- ・ほとんど吸う人がいないが喫煙可能な場所は敷地内にある。
- ・喫煙者がいない。
- ・建物内駐車スペースの一部に灰皿を設置しているが、基本建物内は全て禁煙。
- ・事務所が賃貸物件の為、自社事務所以外の場所については発言する権利がない。
- ・賃貸物件のため貸主の判断となる。
- ・当業界では来場客に対し理解が得られない。
- ・入居しているビルの規則に準じているため。
- ・敷地外での喫煙は、他の事業所やご近所の方々に迷惑がかかるため敷地外喫煙は進めない。
- ・敷地内で数か所喫煙所あり。
- ・敷地内に事業者が複数ある。
- ・敷地内禁煙を進める予定。
- ・わからない。

## Q20.経営理念や経営方針に健康に関する記述

(N=169)

貴社の経営理や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。(単一回答)

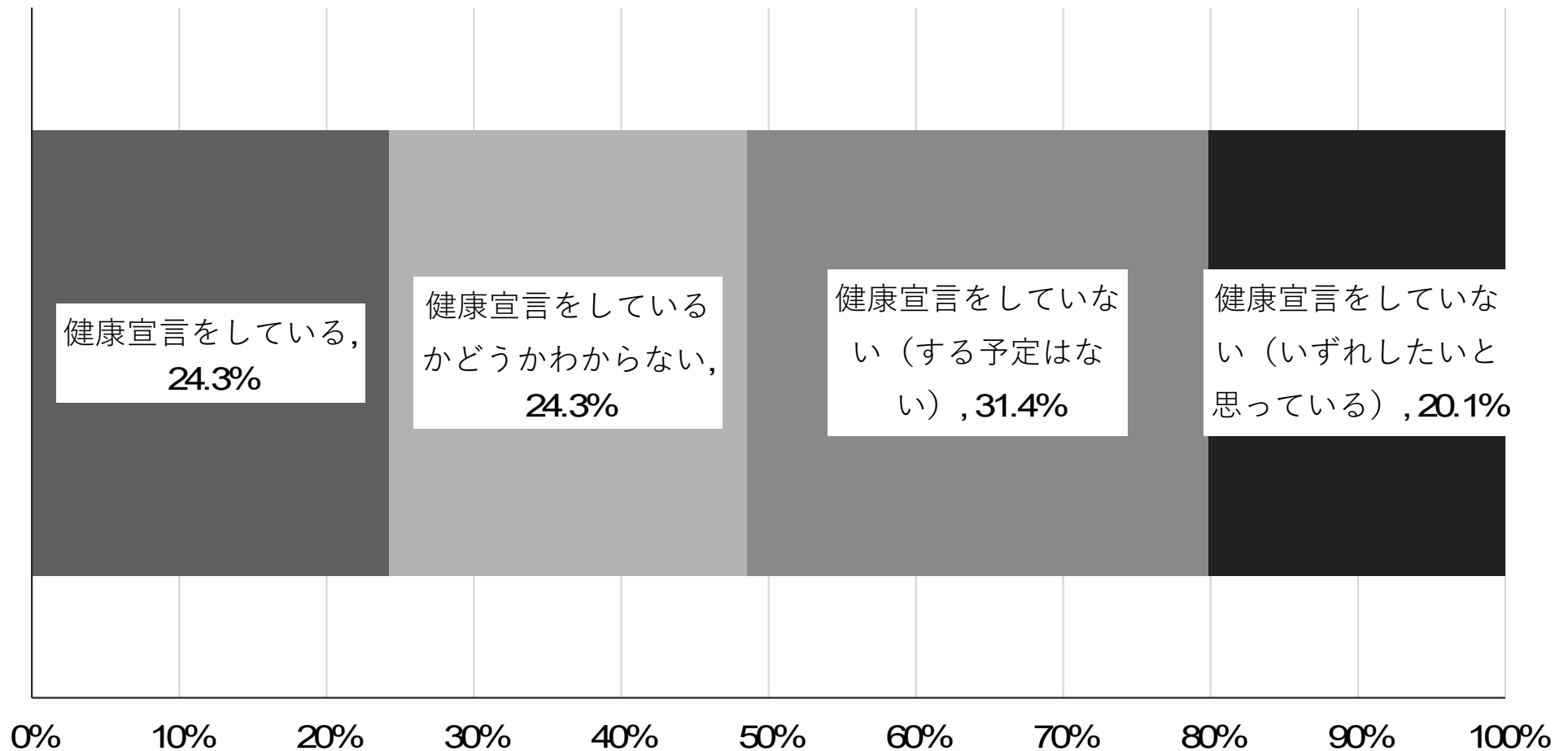


経営理念や経営方針に健康に関する記述は、「ある」が37.3%となっています。

# Q21. 保険者や県が実施の「健康宣言」の状況

(N=169)

貴社では、保険者や県が実施している「健康宣言」を行っていますか。(単一回答)



保険者や県が実施の「健康宣言」の実施状況は、「健康宣言をしている」が24.3%、「健康宣言をしていないがいずれしたいと思っている」が20.1%となっています。

## Q22 行政や保険者に求めるもの【自由記載】

---

- ・アンケートフォームに行く着くまでを簡略してほしい。
- ・お金はかなりかかる事なのですが、歯並び（矯正）の推奨するとか。先進国なのに歯のことにはかなり無頓着だと思いました。外国人が日本人の歯並びの事色々思ってるようです。あと口臭も他国と比べてきついらしいです。
- ・一旦、歯医者にかかると、結果的に高額な治療費を取られてしまうので、気軽には行けない場所となっています。審美歯科領域にも保険が適用される範囲を広げてほしいと思います。
- ・一部先進国に比べ日本は歯の健康に後れを取っている現実、8020運動の推奨、口腔に起因する健康リスクについて、広く広報されたい。
- ・会社で啓発できる簡単なポスターや、案内を作成して各社配布してほしい。
- ・学校のように会社でも無料で歯科検診やブラッシングの指導が毎年受けられたらいいのと思う。
- ・企業として健康づくりには取り組んでいるものの歯や口の健康づくりに関する情報は、健康保険組合から参考程度であり、情報は少ない。行政機関から健康保険組合や企業に対し積極的な取組みの要請が必要と考える。
- ・健康診断（協会けんぽの補助あり）において、歯科検診の項目も追加して欲しい。
- ・口臭について、どうしたらいいのか。

## Q22 行政や保険者に求めるもの【自由記載】

---

- ・ 歯ブラシや歯磨き粉などのサンプルなどがあるとパンフレットなど読んでくれやすくなるかと思います。
- ・ 歯や口に関するリーフレットなどを企業へ送付など、そもそも健康診断関係は企業義務となっているが、歯や口内に関しては義務がない。
- ・ 歯科検診についても補助を出してほしい。できれば健康診断時に一緒に検査したい。
- ・ 歯科検診を無料で実施して頂きたい。
- ・ 社員がいつまでも元気で働いてもらうのはとっても重要な事である事は十分理解していますが、実際は自主的に行動できている会社は殆どなく、社員の自主性に委ねているのが現状ではないでしょうか？ですので法律や条例で決めてもらえないと行動を起こさない会社が多いのではないのでしょうか？
- ・ 定期健康診断の法定項目に歯科検診を追加。
- ・ 定期健診と同時に検診が受けられること。
- ・ 年齢や口腔の状況に応じた対応策を分かりやすく啓蒙してほしい。

### 3. 集計表

Q1. 業種分類	169	
農林水産業	2	1.2
建設業	19	11.2
製造業	16	9.5
電気・ガス	1	0.6
運輸・通信業	6	3.6
卸売・小売業	39	23.1
金融・保険業	4	2.4
サービス業	36	21.3
宿泊・飲食業	6	3.6
医療・福祉	13	7.7
その他	27	16.0

Q2. 従業員数	169	
10人以下	37	21.9
11～29人	33	19.5
30～49人	22	13.0
50～99人	33	19.5
100～299人	21	12.4
300～499人	9	5.3
500～999人	8	4.7
1,000人以上	6	3.6

Q3. 従業員の男女比率	169	
0:10	4	2.4
3:7	34	20.1
5:5	32	18.9
7:3	83	49.1
10:0	16	9.5

Q4. 60歳以上の従業員比率	169	
10%以下	63	37.3
11～19%	40	23.7
20～29%	27	16.0
30～39%	11	6.5
40～49%	11	6.5
50%以上	17	10.1

Q5. 加入する被用保険者	169	
全国健康保険協会管掌健康保険 (協会けんぽ)	121	71.6
組合管掌健康保険(健保組合)	42	24.9
共済組合	3	1.8
未加入(従業員ごと国民健康保 険に加入してもらっている)	3	1.8

Q6. 健康診断での歯科健診	169	
実施している	4	2.4
実施していない	165	97.6

Q7. 勤務中の歯科健診受診	4	
全従業員一斉に勤務時間中に受 診させている	1	25.0
一斉に受診できないので、調整 して個別に勤務時間中に受診さ せている	2	50.0
各自で有給休暇を取得して、都 合の良い時間で受診させている	0	0.0
その他	1	25.0

Q8. 従業員の歯の病気の把握	169	
歯科健診を受診させて把握して いる	2	1.2
健康診断時に自己申告させて把 握している	1	0.6
歯科医院への通院が分かった時 には聞き取りをしている	9	5.3
歯の状況は把握していない	157	92.9

Q9. 啓発リーフレットの活用・ 周知(複数回答)	169	
歯周病がさまざまな病気の原 因に!?	6	3.6
あなたのお口は乾いていませ んか?	6	3.6
あなたのその“むせ”大丈 夫!?	2	1.2
歯医者は痛くなってからいく ものと思っていないですか?	5	3.0
はじめよう!!歯っぴー☆ス マイル体操	3	1.8
活用または周知したリーフ レットはない	158	93.5
不明	1	0.6

Q10. 啓発動画の活用・周知(複 数回答)	169	
最近、歯医者さんに行ったのは いつですか?	2	1.2
歯周病の恐ろしさ	1	0.6
活用または周知した動画はない	167	98.8

### 3. 集計表

Q11. 市の歯周病検診の周知	169	
ある	2	1.2
ない	167	98.8

Q12. 過去3年間でがんにかかった従業員	169	
いる	47	27.8
いない	122	72.2

Q12-2. がんにかかった従業員の就業状況（複数回答）	47	
変化なし（同じ部署に継続して就業など）	26	55.3
違う部署に異動して就業	3	6.4
退職して、再就職した	2	4.3
退職して、再就職しなかった	5	10.6
退職したがその後の就業状況は把握していない	7	14.9
休職・休業したが、退職しなかった	17	36.2

Q13. 従業員への歯と口の健康に関する取組（「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）	合計	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組むつもりはない	該当しない	不明
全体	1183 100.0	30 2.5	353 29.8	389 32.9	404 34.2	7 0.6
昼食後の歯みがきの推奨	169 100.0	13 7.7	54 32.0	46 27.2	55 32.5	1 0.6
歯と口に関する情報を社内報やメール等で周知	169 100.0	10 5.9	61 36.1	43 25.4	54 32.0	1 0.6
本市作成の歯と口に関する啓発リーフレットや動画の周知	169 100.0	0 0.0	77 45.6	36 21.3	55 32.5	1 0.6
歯科医師や歯科衛生士による講演会の実施	169 100.0	0 0.0	27 16.0	79 46.7	62 36.7	1 0.6
市の歯周病検診の周知	169 100.0	1 0.6	67 39.6	45 26.6	55 32.5	1 0.6
歯周病の簡易検査と歯科保健指導の実施	169 100.0	1 0.6	32 18.9	71 42.0	64 37.9	1 0.6
歯科健診と歯科保健指導の実施	169 100.0	5 3.0	35 20.7	69 40.8	59 34.9	1 0.6

### 3. 集計表

Q14. 従業員への健康に関する取組 （「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）	合計	組 る 現 在 取 り 組 み た い	組 今 後 取 り 組 み た い	つ 取 り 組 む つ も り は な い	該 当 し な い	不 明
全体	845 100.0	168 19.9	150 17.8	230 27.2	292 34.6	5 0.6
社内に健康関連のポスターを掲示	169 100.0	46 27.2	57 33.7	28 16.6	37 21.9	1 0.6
社内に体重計や血圧計を設置	169 100.0	39 23.1	35 20.7	55 32.5	39 23.1	1 0.6
勤務時間内に体操を実施	169 100.0	39 23.1	25 14.8	59 34.9	45 26.6	1 0.6
スポーツクラブ等の利用料を補助	169 100.0	34 20.1	27 16.0	67 39.6	40 23.7	1 0.6
社員食堂で健康メニューの提供	169 100.0	10 5.9	6 3.6	21 12.4	131 77.5	1 0.6

Q15. 従業員への喫煙に関する取組 （「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）	合計	組 る 現 在 取 り 組 み た い	組 今 後 取 り 組 み た い	つ 取 り 組 む つ も り は な い	該 当 し な い	不 明
全体	845 100.0	131 15.5	88 10.4	347 41.1	274 32.4	5 0.6
禁煙相談・指導の実施	169 100.0	29 17.2	27 16.0	59 34.9	53 31.4	1 0.6
禁煙に関する講演会の実施	169 100.0	6 3.6	15 8.9	83 49.1	64 37.9	1 0.6
禁煙器具パッチ等の購入費用の補助	169 100.0	9 5.3	14 8.3	84 49.7	61 36.1	1 0.6
禁煙手当を設ける	169 100.0	2 1.2	10 5.9	93 55.0	63 37.3	1 0.6
社用車を禁煙にする（※社用車がない場合は該当しないを選択）	169 100.0	85 50.3	22 13.0	28 16.6	33 19.5	1 0.6

### 3. 集計表

Q16. 従業員へのがんなどの病気との両立に関する取組（「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つ選択）	合計	組現在取り組んでいる	組今後取り組みたい	つ取り組みはむ	い 該当しない	不明
全体	845	254	234	145	207	5
	100.0	30.1	27.7	17.2	24.5	0.6
がん患者・家族に対する従業員の理解や支援の促進	169	17	67	40	44	1
	100.0	10.1	39.6	23.7	26.0	0.6
柔軟な休暇制度（1時間単位や長期の休暇が取れる）	169	75	43	20	30	1
	100.0	44.4	25.4	11.8	17.8	0.6
短時間勤務制度	169	73	44	17	34	1
	100.0	43.2	26.0	10.1	20.1	0.6
在宅勤務	169	36	32	42	58	1
	100.0	21.3	18.9	24.9	34.3	0.6
相談窓口	169	53	48	26	41	1
	100.0	31.4	28.4	15.4	24.3	0.6

Q17. 従業員の喫煙率の把握	169	
把握している	101	59.8
把握していない	68	40.2

Q17-2. 従業員の喫煙率	101	
0%	20	19.8
25%未満	51	50.5
25～50%	22	21.8
51～75%	5	5.0
76%以上	3	3.0

Q18. 受動喫煙対策の現状	169	
敷地内禁煙	37	21.9
建物内禁煙	84	49.7
喫煙室を設置	42	24.9
その他	6	3.6

Q19. 敷地内禁煙を進めるための阻害要因（複数回答）	132	
敷地内禁煙を進めていない	55	41.7
事業主の理解が得られない	6	4.5
従業員の理解が得られない	27	20.5
時間、場所、費用の面で問題がある	11	8.3
どう進めたらよいかわからない	6	4.5
わからない	29	22.0
その他	14	10.6
不明	1	0.8

Q20. 経営理念や経営方針に健康に関する記述	169	
ある	63	37.3
ない	106	62.7

Q21. 保険者や県が実施の「健康宣言」の状況	169	
健康宣言をしている	41	24.3
健康宣言をしているかどうかわからない	41	24.3
健康宣言をしていない（する予定はない）	53	31.4
健康宣言をしていない（いずれしたいと思っている）	34	20.1

## 4. 調査票

### 静岡市 歯と口に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市内事業所の皆様には、日頃から本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、静岡市では、市民の皆様が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう、平成31年4月に「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例」を施行、令和3年3月に「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらつスマイルプラン～(以下、計画)」を策定し、市民、事業所、歯科医療関係者、行政等が一体となって歯と口の健康づくりを推進しています。

歯と口の健康はお口の中だけの問題にとどまらず、近年では、糖尿病や脳梗塞、認知症など様々な疾患との深い関わりがあることがわかってきています。より一層の健康づくりの推進に向け、市ではこれまでの取組の振り返りと、今後の方針決定のため、令和8年度に計画の最終評価及び次期計画の策定を予定しております。

つきましては、その基礎資料として、市内事業所の皆様にアンケート調査をお願いすることとなりました。お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

#### <本調査について>

- ・ この調査票は、無作為抽出した市内事業所500社を対象に発送しております。
- ・ アンケートの回答は、総務担当(給与・厚生・保健衛生)の方がお答えください。
- ・ 会社名等を書いていただく必要はございませんので、回答内容が外部に漏れることはありません。
- ・ 回答内容を受けて行政指導をすることはありません。実態に即して、ありのままをご記入ください。
- ・ 設問数は最大22問です。歯と口の健康や健康に関する設問としております。
- ・ 回答時間は、10分程度です。
- ・ 調査結果は、今後の市政運営の貴重な資料として活用いたします。

#### <回答方法>

右記、二次元バーコードより電子回答をお願いします。

( <https://logoform.jp/form/79j2/1100071> ) 回答期限:8月29日(金)

※二次元バーコードの読み取りは「標準カメラアプリ」で行ってください。

※設問内容は2ページ以降でご確認いただけます。



2025年8月

静岡市長 難波 喬司  
(保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課)

#### <問合せ先>

静岡市健康づくり推進課 口腔保健支援センター  
電話:054-249-3175

本アンケート調査の設問内容・回答選択は以下のとおりです。(回答は二次元バーコードからお願いします。)

問1	貴社の主要な業種を選択してください。(単一選択) 農林水産業、建設業、製造業、電気・ガス、運輸・通信業、卸売・小売業、金融・保険業、サービス業、宿泊・飲食業、医療・福祉、その他
問2	貴社の従業員数(非正規社員を含む)を選択してください。(単一選択) 10人以下、11~29人、30~49人、50~99人、100~299人、300~499人、500~999人、1,000人以上
問3	貴社の従業員の男女比率は次のうち、どれが一番近いですか。(単一選択) ※男性:女性 10:0、7:3、5:5、3:7、0:10
問4	貴社の60歳以上の従業員比率を選択してください。(単一選択) 10%以下、11~19%、20~29%、30~39%、40~49%、50%以上
問5	貴社が加入する被用者保険を選択してください。(単一選択) 全国健康保険協会管掌健康保険(協会けんぽ)、組合管掌健康保険(健保組合) 共済組合、未加入(従業員ごと国民健康保険に加入してもらっている)
問6	貴社の健康診断では、歯科に関する健診(歯科健診)を実施していますか。(単一選択) 実施している、実施していない
問7	【前問で「実施している」のみ】貴社の歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。(単一選択) 全従業員一斉に勤務時間中に受診させている 一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている 各自で有給休暇を取得して、都合の良い時間で受診させている その他
問8	貴社では、従業員の歯の病気について把握していますか。(単一選択) 歯科健診を受診させて把握している、健康診断時に自己申告させて把握している 歯科医院への通院が分かった時には聞き取りをしている、歯の状況は把握していない
問9	静岡市では、歯と口に関する様々な啓発リーフレットを作成しています。貴社では、従業員に対して、次のリーフレットを活用または周知したことはありますか。(複数選択) 歯周病がさまざまな病気の原因に!?、あなたのお口は乾いていませんか? あなたのその“むせ”大丈夫!?、歯医者は痛くなってからいくものと思いませんか? はじめよう!!歯っぴー☆スマイル体操、活用または周知したリーフレットはない
問10	静岡市では、歯と口に関する啓発動画を作成しています。貴社では、従業員に対して、次の啓発動画を活用または周知したことはありますか。(複数選択) 最近、歯医者さんに行ったのはいつですか?(1分25秒)、歯周病の恐ろしさ(2分8秒) 活用または周知した動画はない
問11	静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯周病検診」を行っています。貴社では、従業員に対して、この歯周病検診を告知・周知したことはありますか。(単一選択) ある、ない

## 4. 調査票

問12	貴社では、ここ3年間でがんにかかった従業員はいますか。(単一選択)
	いる、いない 「いる」の場合は就業状況を教えてください。(以下6項目についておおよその人数を記載)
	変化なし(同じ部署に継続して就業など) 違う部署に異動して就業 退職して、再就職した 退職して、再就職しなかった 退職したがその後の就業状況は把握していない 休職・休業したが、退職しなかった
問13	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組みそうなことはありますか。【歯と口の健康に関すること】(以下7項目について「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つずつ選択)
	昼食後の歯みがきの推奨 歯と口に関する情報を社内報やメール等で周知 本市作成の歯と口に関する啓発リーフレットや動画の周知 歯科医師や歯科衛生士による講演会の実施 市の歯周病検診の周知 歯周病の簡易検査と歯科保健指導の実施 歯科健診と歯科保健指導の実施 ※その他の取組があれば自由記載
問14	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組みそうなことはありますか。【健康に関すること】(以下5項目について「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つずつ選択)
	社内に健康関連のポスターを掲示 社内に体重計や血圧計を設置 勤務時間内に体操を実施 スポーツクラブ等の利用料を補助 社員食堂で健康メニューの提供(※社員食堂がない場合は該当しないを選択) ※その他の取組があれば自由記載
問15	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組みそうなことはありますか。【喫煙に関すること】(以下5項目について「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つずつ選択)
	禁煙相談・指導の実施 禁煙に関する講演会の実施 禁煙器具・パッチ等の購入費用の補助 禁煙手当を設ける 社用車を禁煙にする(※社用車がない場合は該当しないを選択) ※その他の取組があれば自由記載

問16	貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。また、今後取り組みそうなことはありますか。【がんなどの病気との両立に関すること】(以下5項目について「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」「該当しない」から1つずつ選択)
	がん患者・家族に対する従業員の理解や支援の促進(研修、幹部からの指示、人事評価への両立者数目標値導入など) 柔軟な休暇制度(1時間単位や長期の休暇が取れる) 短時間勤務制度 在宅勤務 相談窓口 ※その他の取組があれば自由記載
問17	貴社では、従業員の喫煙率を把握していますか。(単一選択)
	把握している、把握していない 「把握している」場合は、該当する喫煙率を1つ選択してください。 0%、25%未満、25~50%、51~75%、76%以上
問18	貴社における受動喫煙対策の現状は以下のどれに当てはまりますか。(単一選択) 敷地内禁煙、建物内禁煙、喫煙室を設置、その他
問19	【前問で「敷地内禁煙」以外を選択のみ】貴社では敷地内禁煙を進めていますか。進めている場合、阻害要因はありますか。(複数選択)
	敷地内禁煙を進めていない、事業主の理解が得られない 従業員の理解が得られない、時間、場所、費用の面で問題がある どう進めたらよいかわからない、わからない、その他
問20	貴社の経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。(単一選択) ある、ない
問21	貴社では、保険者や県が実施している「健康宣言」を行っていますか。(単一選択)
	健康宣言をしている、健康宣言をしているかどうかわからない 健康宣言をしていない(する予定はない)、健康宣言をしていない(いずれしたいと思っている)
問22	行政や保険者に歯や口を含む健康づくりについて、どのようなことを求めますか。(自由記載)

ご多用のところ大変お手数をおかけしますが、8月29日(金)までに  
以下二次元バーコードより電子回答をお願いいたします。



( <https://logoform.jp/form/79j2/1100071> )

※二次元バーコードの読み取りは「標準カメラアプリ」で行ってください。

### アンケート等から評価できる指標の結果

各分野に設定した目標値67指標のうち、アンケート調査の結果等から令和7年12月時点で評価ができる34指標の結果

#### <指標の評価基準及び評価結果>

評価区分	内容	結果
達成	最終目標値を達成している(最終目標値が数値の指標のみ)	8
改善(↑)	改善傾向にある(ベースライン値と比べ+3%以上)	14
維持(→)	変わらない(ベースライン値と比べ±3%未満)	6
悪化(↓)	計画策定時の目標値と比べ悪化した(ベースライン値と比べ-3%以下)	6
計		34

#### <評価にあたり使用した基礎資料>

調査名	調査期間	対象者など ※()は回答率	関連指標数
歯と口に関するアンケート調査 (市民向け)	令和7年8月1日～8月30日	1,518/4,500人(33.7%)	20
歯と口に関するアンケート調査 (事業所向け)	令和7年8月1日～9月9日	169/500事業所(33.8%)	4
静岡県学校歯科保健調査	令和7年4月1日～6月30日に 実施した歯科健診	静岡市内の小学校 82校、 中学校51校、高等学校18校	10

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について②

## 次期計画策定のスケジュール

年度	R7			R8											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
会議	今回						①			②			③		
内容	・アンケート報告 ・第2次計画の方向性の提示						・第2次計画骨子案 の提示			・第2次計画素案 の提示			・第2次計画最終案 の提示		
その他 事務手 続		第2次計画方向性 の修正		計画の 最終評 価・分 析	第2次計画骨子案 作成			第2次計画素案作 成			パブ リック コメン ト実施	第2次 計画最 終案作 成		厚生委員会での 最終審議→計画 書印刷	

## 計画期間

国の基本的事項(第2次)、市総合計画及び市健康増進計画(名称:健康爛漫計画)に終期を揃え、令和17年度までの9年間で予定

年度	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036
本計画	現計画(6年間)		最終評 価・第2 次策定	第2次計画(2027年から9年間)				中間評 価・見 直し				最終評 価・第3 次策定	第3次
市総合計 画	第4次		第4次(見直し後)								第5次		
市健康増 進計画	第3次								第4次				
国(基本的 事項)	第2次		中間評価				最終評価			次期プラン策定		第3次	

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について③

## 基本理念・スローガン

(ロジックモデル:  
Impact/最終的に目指す姿  
・社会的な影響)

### 基本理念

「健康長寿のまち」実現に向けた「歯と口の健康づくり」

### スローガン

いつでも だれでも どんなときも  
歯と口の健康づくりに取り組み 美味しく 楽しく  
安全に 口から食べることができるまち しずおか

市民一人ひとりが生涯にわたり  
歯と口を大切に、健康に保つことで、  
・美味しく楽しく安全に食べることができる  
・QOLを維持し、健康で人生を楽しめる

## 基本方針

(ロジックモデル:  
Outcome/  
事業の実施を通じて  
期待される変化)

基本方針1	基本方針2	基本方針3	基本方針4	基本方針5
乳幼児期から高齢期までの歯科疾患の特性に応じた取組	障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組	災害時における健康被害の予防及び歯科保健医療提供体制の整備	持続可能な歯と口の健康づくりの推進のための環境整備・関係機関の連携強化	科学的根拠に基づいた歯科保健施策の展開
各ライフステージにおいて起こりうる歯と口の疾患や機能発達・機能低下の状態に応じた取組を進めることにより、一生自分の口で食べられることを目指す。	特別な配慮が必要な人の特性を理解し、適切な支援ができる環境を整備する。	災害時における健康被害の予防に関する知識の普及を図るとともに、歯科保健医療提供体制を整備する。	歯と口の健康づくりを円滑かつ効果的に推進するため、保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育、その他の関係機関との有機的な連携を図る。	各種データの積極的な利活用によりエビデンスに基づいた歯科保健施策を展開する。

指標

事業の実績

事業の実施

## 取組

(ロジックモデル:  
Output・Activity/  
事業実績・事業実施)

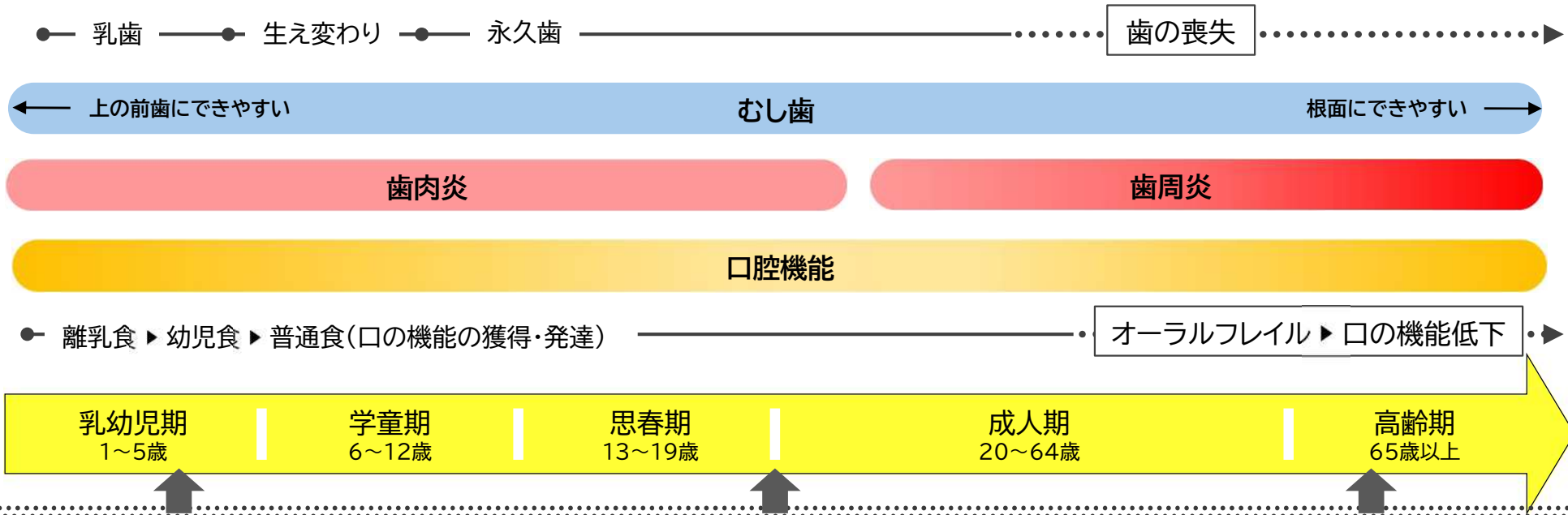
次回検討

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について④

## 基本方針間の関係

基本方針1(いつでも)

QOL低



基本方針2(だれでも)  
基本方針3(どんなときも)  
基本方針5

**障がい児・者**(障がいの特性により痛みを訴えることができない場合や歯科受診が難しい場合がある)

**被虐待児**(生活環境や生活習慣の問題からむし歯が多い傾向にある)

**妊産婦**(つわりやホルモンバランスの変化から、むし歯や歯周病になりやすい)

**要介護者**(ご自身での口腔ケアが難しい、歯科医院への通院が困難な場合がある)

**入院患者**(全身麻酔下手術を受ける前に歯科治療や口腔ケア等を行うことで合併症を予防できる)

**災害時の健康被害の予防・体制整備**(災害時に十分な口腔ケアができると誤嚥性肺炎になる可能性が高くなる。また、避難所における食生活の乱れや水が十分でない環境下でブラッシングができないことからむし歯等になりやすい)

市民があらゆる場面において、歯と口の健康づくりに取り組める環境整備・関係機関の連携強化を図り、基本方針1~3の取組を下支えする

各種データを積極的に利活用することで、基本方針1~3の取組を下支えする

基本方針4

# 歯科口腔保健の推進に関するロジックモデル（むし歯）

## アンケート結果・学校歯科保健調査から見た現状

- ・むし歯のない中学1年生の割合は、83.0%(R1)→87.6%(R7)と増加(改善)した。
- ・治療をしていないむし歯がある高校1年生は減少(改善)が見られたが、小学4年生、中学1年生は若干減少(維持)した。(P8 表1参照)
- ・むし歯予防に効果的なフッ化物を利用している人は、中学生・高校生で69.4(R1)→73.8%(R7)、40歳以上は37.8%(R1)→58.2%(R7)といずれも増加(改善)が見られた。
- ・歯科専門職による歯の健康教育を実施している小学校・中学校・高等学校はいずれも減少(悪化)した。(P8 表1参照)
- ・歯と歯と間のむし歯予防に効果的なデンタルフロスの使用者は、中学生で41.6%(H28)→54.5%(R7)と改善が見られた。

## 課題

- ・むし歯は減少しているが、治療をしていないむし歯がある者は小学4年生と中学1年生で改善しなかった。高校生は、痛みや外見(審美面)への関心の高まり等により、本人の判断で歯科受診に繋がることがある一方、小・中学生においては、保護者の受診調整が必要となる年齢層であることに加え、共働き世帯の増加や生活の多忙化(塾等の習い事・部活等)により、歯科受診に繋がりにくい環境要因が存在している可能性がある。むし歯の重症化による弊害について働きかけが必要
- ・歯科専門職による歯の健康教育を実施している学校は、H31(R1)の計画策定時から減少(悪化)を辿っている。コロナ禍を契機に対面による健康教育が減少したことが考えられる。今後は対面による健康教育に頼らない方法として、作成したむし歯の啓発動画の効果的な活用等を学校歯科医と連携し検討が必要

インプット:  
社会資源の投入  
(ヒト・モノ・お金)

アクティビティ:  
事業・施策の実施

アウトプット:  
施策による結果

短期アウトカム:  
意識・知識の変化  
(知る・わかる)

中期アウトカム:  
行動・習慣の変化  
(実践する、続ける)

長期アウトカム:  
状態の変化  
(健康になる)

インパクト:  
社会的な変化

・事業費●円

- ・歯の生え始めの親子を対象に歯みがき教室を実施
- ・園児を対象とした歯みがき巡回、フッ化物洗口の実施
- ・小中高年生向けむし歯啓発動画の作成、活用
- ・高齢者へ根面むし歯の啓発

- ・教室の実施回数 ●回
- ・歯みがき巡回 ●園
- ・フッ化物洗口の実施 ●園
- ・啓発動画を利用し健康教育を行っている学校数 ●校
- ・高齢者への啓発 ●人

- ・むし歯について正しく理解する
- ・むし歯の予防方法を理解する
- ・フッ化物の正しい知識、利用方法を理解する

- ・フッ化物を利用する
- ・1日2回以上の間食を控える
- ・保護者が毎日仕上げみがきを行う
- ・定期的に歯科を受診する

- ・むし歯の処置、予防、重症化予防ができる
- ・フッ化物の利用によって、むし歯に強い歯をつくることができる
- ・自分の歯を残すことができる

- ・美味しく楽しく安全に(むせたりすることなく)食べることができる
- ・QOL(生活の質)が維持、向上する

インプット～アウトプット

アウトカム

インパクト

# 歯科口腔保健の推進に関するロジックモデル（歯周病）

## アンケート結果から見た現状

- ・1年に1回以上歯科健診を受診している者の割合は、増加(達成)したが、働く世代(特に20歳代)は低調である。  
28.2%(H28)→43.4%(R7) (P8 表2参照)
- ・静岡市の成人期で歯周病に関する症状がある者は年代とともに増加し、30歳代以降は7割を超えている。(P8 表2参照)
- ・3本以上歯を喪失した人の割合は、50歳代16.9%、60歳代43.3%で、50歳代から60歳代で20%強の増加が見られる。(P8 表3参照)
- ・歯周病と関連が深い糖尿病患者に対する取組が必要だが、歯科からの積極的なアプローチができていない。

## 課題

- ・高校卒業後は、進学、就職、結婚、出産、子育てなどライフイベントによる環境変化が起こりやすい。また、高校までは年に1回の学校歯科健診があるが、卒業後はなくなるため、歯科健診の機会がなく、痛みがあっても忙しい等を理由に歯科受診が後回しになりやすい。歯周病に関する症状は30歳代以降は7割を超えるため、中・高校生うちに正しい知識を身につけられるような啓発、また働く世代に歯科受診の重要性を働きかけることが必要
- ・近年、歯周病治療を行うことで、糖尿病の指標であるHbA1cの値が改善することが科学的に示されるようになった。糖尿病に罹患し内科等を受診している患者のうち、歯科受診が見られない者に歯科受診勧奨を行う、糖尿病を疑う歯科受診者は医科へ受診勧奨するなど双方の対応が必要

インプット:  
社会資源の投入  
(ヒト・モノ・お金)

アクティビティ:  
事業・施策の実施

アウトプット:  
施策による結果

短期アウトカム:  
意識・知識の変化  
(知る・わかる)

中期アウトカム:  
行動・習慣の変化  
(実践する、続ける)

長期アウトカム:  
状態の変化  
(健康になる)

インパクト:  
社会的な変化

・事業費●円

- ・中・高校生向け歯周病に関する啓発動画の作成
- ・20歳代以降の働く世代への歯科健康講座の実施
- ・糖尿病と歯周病の関係性のポスターやチラシの作成

- ・歯周病に関する啓発動画を利用し健康教育を行っている学校数 ●校
- ・健康講座を実施する事業所●事業所
- ・糖尿病と歯周病の関係性ポスター等の配布 ●箇所

- ・歯周病について正しく理解する
- ・歯周病の予防方法を理解する
- ・歯周病と糖尿病の関係性を理解する

- ・デンタルフロスなど歯と歯の間の器具を使う
- ・定期的に歯科を受診する
- ・糖尿病患者が歯科を受診し、歯周病治療を受ける

- ・歯周病の改善、予防、重症化予防ができる
- ・自分の歯を残すことができる
- ・自分の歯を失っても入れ歯等で噛める状態が維持される
- ・歯周病治療にて血糖値がコントロールされる

- ・美味しく楽しく安全に(むせたりすることなく)食べることができる
- ・QOL(生活の質)が維持、向上する

インプット～アウトプット

アウトカム

インパクト

# 歯科口腔保健の推進に関するロジックモデル（口腔機能）

## アンケート結果から見えた現状

- ・オーラルフレイル(お口の機能の衰えのことで、放置すると栄養状態の悪化や身体の衰えに繋がる)の認知度、お口の体操の認知度は向上しているが、8020運動の認知度は若干減少(維持)、口腔機能に関する症状がない者の割合は、減少(悪化)している。(P8 表4参照)
- ・しっかり噛んで食事をするために歯の本数が大きく影響するが、65歳以上678人のうち、歯の本数が19本以下(※永久歯は親知らずをのぞくと全部で28本)と回答したのは、224人(33.0%)であった。(P8 表5参照)
- ・歯の本数が19本以下で「何でも噛んで食べることができるか」との設問に、「一部噛めない食べものがある」「噛めない食べものが多い」「噛んで食べることができない」と回答したのは、46.4%で、20本以上の17.5%と比較し、有意に多かった。(P8 表6参照)

## 課題

- ・オーラルフレイルは口の問題だけに留まらず、放置することでフレイル(身体の虚弱)やその先にある要介護にも影響することを引き続き広く周知し、予防方法を働きかけていく必要がある
- ・生涯にわたり、美味しく楽しく安全に(むせたりすることなく)食べ、QOL(生活の質)を維持、向上するためには、しっかり噛んで飲み込めるように、歯周病やむし歯にせず健康な歯を保つこと、口の機能を維持、向上することが重要であることを歯を失い始める40歳頃の働く世代から啓発していくことが必要

インプット:  
社会資源の投入  
(ヒト・モノ・お金)

アクティビティ:  
事業・施策の実施

アウトプット:  
施策による結果

短期アウトカム:  
意識・知識の変化  
(知る・わかる)

中期アウトカム:  
行動・習慣の変化  
(実践する、続ける)

長期アウトカム:  
状態の変化  
(健康になる)

インパクト:  
社会的な変化

・事業費●円

- ・オーラルフレイルの普及啓発動画を作成し、配信
- ・歯っぴー☆スマイル体操の周知、啓発
- ・地域の高齢者向け歯つらつ健口講座の実施

- ・オーラルフレイルに関する啓発動画を配信 ●箇所
- ・歯っぴー☆スマイル体操リーフレット配布 ●枚
- ・歯つらつ健口講座の実施 ●箇所

- ・オーラルフレイルを放置するとフレイルに繋がること、予防、改善方法を理解する
- ・飲み込む機能の低下が誤嚥性肺炎の原因であることを知り、予防方法を理解する

- ・定期的に歯科を受診し、噛む、飲み込む状態に問題がないか確認をしてもらう
- ・唇、頬、舌などを動かすお口の体操を実践する

- ・自分の歯または入れ歯等で噛める状態が維持される
- ・口腔機能(噛む、飲み込む)が維持、向上する
- ・むせや口の渇きが改善する

- ・美味しく楽しく安全に(むせたりすることなく)食べることができる
- ・QOL(生活の質)が維持、向上する

インプット～アウトプット

アウトカム

インパクト

表1

指標	対象	R1	R7	評価
むし歯処 置未了 者の割合	小学4年生	45.1%	45.3%	維持
	中学1年生	41.7%	41.4%	維持
	高校1年生	42.7%	35.1%	改善
歯科専門 職による 歯の健康 教育実施	小学校	21.6%	17.1%	悪化
	中学校	7.8%	3.9%	悪化
	高等学校	21.1%	11.1%	悪化

表2

設問	年齢	H28	R7	評価
Q11.歯 科健診受 診率	20-29歳	28.2%	43.4%	達成
	30-44歳	40.2%	55.7%	達成
	45-64歳	40.7%	61.3%	達成
Q18.歯 周疾患に 関する症 状がある 人の割合	20-29歳	72.6%	57.6%	改善
	30-44歳	77.9%	71.3%	達成
	45-64歳	80.0%	75.9%	改善

表3

年齢	人数	3本以上喪失した人数	%
40~49歳	129	15	11.6%
50~59歳	178	30	16.9%
60~69歳	224	97	43.3%

表4

指標名(対象)	ベースライン	R7	評価
Q27. オールフレイルを知っている者(40歳以上)	11.5%(R1)	33.9%	達成
Q33. 歯っぴー☆スマイル体操を知っている者(40歳以上)	37.9%(R1)	44.6%	改善
Q26.8020運動の認知度(40歳以上)	51.4%(R1)	50.0%	維持
Q19.口腔機能に関する症状がない者(65歳以上)	52.0%(H28)	44.4%	悪化

表5

設問	選択肢	65歳以上	
		人数	%
Q6.歯の本数	~19本	224	33.0%
	20本~	396	58.4%
	不明	58	8.6%
	計	678	100.0%

表6

設問	選択肢	~19本		20本~	
		人数	%	人数	%
Q5.BMI(身長・体重より算出)	やせ(<18.5)	34	15.2%	35	8.8%
	標準(18.5≤標準<25)	151	67.4%	283	71.5%
	肥満(≥25)	32	14.3%	72	18.2%
	不明	7	3.1%	6	1.5%
Q8.この1年(2024.8~2025.7)の間に歯科医院に行ったか	行った	155	69.2%	304	76.8%
	行っていない	69	30.8%	92	23.2%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%
Q9.歯や口に関して治療や相談ができるか(かかりつけ歯科医がいるか)	いる	196	87.5%	359	90.7%
	いない	28	12.5%	34	8.6%
	無回答	0	0.0%	3	0.8%
Q11.年に1回以上定期的に歯科健診を受けているか	受けている	125	55.8%	264	66.7%
	受けていない	98	43.8%	129	32.6%
	無回答	1	0.4%	3	0.8%
Q19.口腔機能に関する症状・お悩みはあるか(複数回答)	口が渴く	41	18.3%	81	20.5%
	食事にむせる	31	13.8%	56	14.1%
	飲み込みにくい	24	10.7%	17	4.3%
	噛むのが大変	56	25.0%	38	9.6%
	口腔機能に関する症状や悩みはない	81	36.2%	200	50.5%
Q26.8020運動という取組を知っているか	知っている	85	37.9%	220	55.6%
	知らない	133	59.4%	169	42.7%
	無回答	6	2.7%	7	1.8%
Q27.オールフレイルという言葉を知っているか	聞いたことがある	66	29.5%	156	39.4%
	聞いたことがない	153	68.3%	231	58.3%
	無回答	5	2.2%	9	2.3%
Q28.何でも噛んで食べることができるか	何でも噛んで食べられる	116	51.8%	324	81.8%
	一部噛めない食べ物がある	82	36.6%	62	15.7%
	噛めない食べ物が多い	18	8.0%	2	0.5%
	噛んで食べることができない	4	1.8%	5	1.3%
	無回答	4	1.8%	3	0.8%

46.4%

17.5%

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について

## その他 アンケート調査結果から見た現状

### 障がい児・者

・「障がいのある方の歯科医療機関の受診を推進するためには、どのようなことが必要だと思うか(複数回答)」との問いに対し、12歳以上の1,400人中776人(55.4%)が「バリアフリー等の施設面が充実している」と回答し、最も高かった。次いで、「障がいのある方を積極的に受け入れている医療機関リスト」があるが758人(54.1%)であった。(資料2-1 P78 Q34参照)

・年代別では、64歳以下は、「バリアフリー等の施設面が充実している」が最も高く、65歳以上は、「医療機関内に障がいのある方の受診を推進していることの掲示をする(貼り紙・ホームページ等)」が最も高かった。(資料2-1 P50参照)

### 要介護者

・「寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯の治療や口腔ケアを受けられること」の認知度では、12歳以上の1,400人中492人(35.1%)が知っていると回答した。(資料2-1 P78 Q35参照)

・年代別では、65～74歳が41.1%で最も高かった。(資料2-1 P51参照)

### 入院患者

・「全身麻酔を伴う手術の前後や、がんによる化学療法や放射線治療を受ける前に歯科治療や口腔ケアを受けることで、肺炎などの合併症を予防し、入院日数が短くなること」の認知度では、12歳以上の1,400人中323人(23.1%)が知っていると回答した。(資料2-1 P78 Q37参照)

・年代別では、65～74歳が29.6%で最も高かった。(資料2-1 P53参照)

### 災害時

・「非常持ち出し袋の中に歯ブラシ等が入っているか」では、1,518人中447人(29.4%)が「入っている」と回答し、前回調査時より増加(改善)しているが、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性」の認知度は、12歳以上1,400人中595人(42.5%)が「知っている」と回答し、若干減少(維持)している。

(右表7及び資料2-1 P76 Q16.Q17.参照)

・年代別では、「非常持ち出し袋に歯ブラシ等を入れている」は6～11歳が40.3%が最も高く、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性の認知度」は75歳以上が55.9%が最も高かった。(資料2-1 P28・P29参照)

表7

指標	R1	R7	評価
非常時の非常持ち出し袋に歯ブラシや液体はみがきが入っている者の割合(全世代)	22.3%	29.4%	改善
災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎になる可能性があることを知っている者の割合(12歳以上)	42.8%	42.5%	維持

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について

## その他 アンケート調査結果から見た現状

### 事業所

- ・「歯科健診の実施」、「歯の病気の把握」は49人以下の事業所で微増(改善)した。(右表8参照)
- ・市が作成する啓発リーフレットや動画の活用や市の歯周病検診の周知を行っている事業所は少ない。(資料2-2 P14~P16参照)
- ・「従業員への健康に関する取組」の「現在取り組んでいる」ものは、「スポーツクラブ等の利用料を補助」、「勤務時間内に体操を実施」、「社内に体重計や血圧計を設置」、「社内に健康関連のポスターを掲示」はいずれも20%を超えているが、「従業員への歯と口の健康の取組」では、最も高かったのが「昼食後の歯みがきの推奨」の7.7%であった。健康への取組は行っているが、歯と口の健康への取組は行っていない事業所が多い。(資料2-2 P19、P20参照)
- ・一方「従業員への健康に関する取組」の「今後取り組みたい」ものは、「社内に健康関連のポスターを掲示」が33.7%で最も高く、また「従業員への歯と口の健康の取組」は「本市作成の歯と口に関する啓発リーフレットや動画の周知」が45.6%、次いで「市の歯周病検診の周知」が39.6%、「歯と口に関する情報を社内報やメール等で周知」が36.1%であった。(資料2-2 P19、P20参照)

### 自由記載

- ・市民向けアンケートでは、「市がどんな取り組みをしているか知らない」という取組の周知不足を指摘する声が57件と最も多かった。(資料2-1 P58~P61参照)

表8

指標(対象)	R1	R7	評価
歯科健診を実施(49人以下)	1.4%	3.3%	改善
歯科健診を実施(50人以上)	3.0%	1.3%	悪化
従業員の歯の病気の把握(49人以下)	6.3%	9.8%	改善
従業員の歯の病気の把握(50人以上)	4.0%	3.9%	維持

# 歯と口腔の健康づくり推進計画(第2次)の方向性について

## 今後の検討事項

### ① 歯科受診の評価について

現計画では、かかりつけ歯科医の定義を以下としている。

歯が痛くなった時に一時的に通院するのではなく、むし歯や歯周病などを予防することを目的に、年に1回以上定期的に通院する歯科医院のことをさす

そのため、評価指標は、以下を設定している。

歯科健診受診率…年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか

今回のアンケート調査では、以下3つの問いを設けた。

- ・Q7. ご本人は、この1年(2024年8月～2025年7月)の間に歯科医院に行きましたか。
- ・Q9. 歯や口に関して治療や相談ができる歯科医(いわゆる“かかりつけ歯科医”)がいますか。
- ・Q11. 年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。

その結果は右表のとおり、「かかりつけ歯科医がある(Q9)」と回答した人がいずれの年代でも最も高く、次いで「過去1年以内に歯科受診(Q7)」、「1年に1回以上定期的に歯科受診(Q11)」であった。本市が考える「かかりつけ歯科医」と市民が思う「かかりつけ歯科医」とのギャップがあったため、指標の再検討が必要

年齢	かかりつけ歯科医あり(Q9)	過去1年以内に歯科受診(Q7)	1年に1回以上定期的に歯科受診(Q11)
18-29歳	73.0%	53.2%	43.7%
30-39歳	71.4%	67.0%	55.4%
40-64歳	81.3%	70.6%	60.6%
65-74歳	90.6%	76.1%	63.3%
75歳以上	86.9%	69.8%	60.6%
平均	80.6%	67.3%	56.7%

### ② 計画の対象について

現計画では、成人期を20～64歳としているが、20歳代、30歳代は症状がなく歯科受診率が低い、40歳代以降は症状が出始め歯を失い始める人が増加するなど、課題が異なる。また現在、思春期を19歳までと設定しているが、高校卒業後に歯科健診がなくなることなどを考え、対象の再検討が必要

